TEPRA

PRO

SR55

取扱説明書

●はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR55をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書は「テプラ」PRO SR55の使いかたを､「準備編」「入力編」「編集編」「印刷編」「保存編」「その他編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。
取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。
「テプラ」PRO SR55を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。
なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

● この製品を、テレビやラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
● この製品は、日本国内専用です。
● 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
● 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
● 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

注 意！

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
  なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」､「KING JIM」､「テプラ」､「TEPRA」､「テプラ」PRO 、Pテープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

⚠危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を説明しています。

		表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
		表示は、してはいけない「禁止」内容です。
		表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠危険

電池の取り扱いについて

電池の液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

⚠警告

電池の取り扱いについて

電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。

長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。

電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。

その他

本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

ぬれた手で本機を操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。

本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

⚠注意

カッターについて

印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。

その他

本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。

「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●テープカートリッジの取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解しないでください。故障の原因となります。

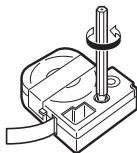
■ テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。

■ テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。

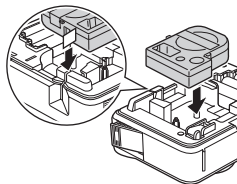
●テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ **セット前に、必ずインクリボンのたるみをとる**

テープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみをとってください。
インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

■ **正しく本機にセットする**

テープカートリッジをラベル面を上にして、しっかりと押し込みます。
正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。
新品のテープカートリッジをセットするときやテープの先端が長めに出ているときは、テープの先端をまっすぐに伸ばし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。
テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出すなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.20「2. テープカートリッジをセットする」

■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする（シフト ＋ プレビュー）

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」をおこなってください。「テープ送り」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出すなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.23「4.テープ送りをする」

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「回収BOX」設置店までお持ちください。

なお、「エコマーク商品」（ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ）については、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「回収BOX」設置店までお持ちください。

MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

注 意！

「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●その他のご注意

■ **本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。**

■ 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。

■ 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。

■ テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。

■ 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。

■ テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。

■ 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに 印刷 を押すことはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。

■ テープ送りは、必ず シフト ＋ プレビュー （＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。

■ テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。

■ ダイアルやボタンの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでの操作は絶対におやめください。

■ テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。

■ オート・パワーオフ機能に頼らず、使用後は必ず電源を切ってください。

■ 電池交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、今まで登録したファイルなど、データや学習内容が消去されることがあります。

■ 長時間使わないときは、電池、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。本機、電池、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。

■ 寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。

■ 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。

■ 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

本書の使いかた

●本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編
本機を使用する前の準備作業について説明しています。

入力編
文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作について説明しています。

編集編
ラベルの見栄えをよくする機能の情報を説明しています。

印刷編
基本的な印刷から特殊印刷まで説明しています。

保存編
ファイル登録機能について説明しています。

その他編
技術的な情報を説明しています。必要に応じてお読みください。

●本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
❶、❷	操作の手順を示しています。
ら/%、そ/O	三角マークに合わせているダイアル内の文字を示しています。
あ·ア·A·a、編集	機能ボタンを示しています。
	ダイアル中央にある決定ボタンを示しています。
	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照☞	関連する事項の参照ページを案内しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
注 意！	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

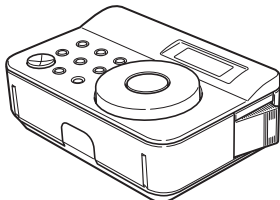
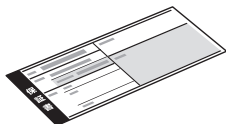
目次

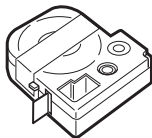
印刷編

保存編

その他編

同梱品の確認

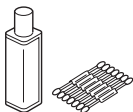
同梱品がすべて揃っているか、確認してください。

「テプラ」PRO SR55本体

保証書
（箱の側面に添付）

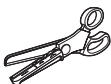
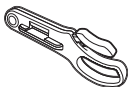
SR55 取扱説明書（本書）

試用PROテープカートリッジ

MEMO

本機には、電池は同梱しておりません。アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単３形×６本）をお買い求めください。

別売品のご案内

本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。

ヘッド・クリーニングキット（RC15）
印刷ヘッド専用クリーニング液です。

ヘッド・クリーニングテープ（SR18C）
「テプラ」本体のヘッドクリーニング用のテープです。

トリマー（RT36W）
ラベルのカドを丸くカットして、はがれに強い、きれいなラベルに仕上げるハサミ型トリマーです。ラベルの前後余白調整にも便利です。
対応ラベル：4 〜 36mm 幅
※ 本機の対応ラベルは 4 〜 18mm 幅です。

ハーフカッター（RH24）
ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくします。
対応ラベル：4 〜 24mm 幅
※本機の対応ラベルは 4 〜 18mm 幅です。

りぼんキット（SRR10）
ミニサイズで使いやすい手芸用はさみと、印刷前に使いたい長さを確認できる綿製のメジャー、おまけシールのついた「テプラ」PRO テープカートリッジ りぼん専用のオプション品です。

ラベルラミネーター（RL18）
ラベル表面に透明のラミネートを施し、表面を保護します。薬品、油、こすれなどからラベルを守ります。
対応ラベル：9 〜 18mm 幅
※ 4mm 幅、6mm 幅のテープには対応していません。

システムバッグ（SR8B）
ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用したクッション性に優れたバッグです。「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。

システムケース（SR9H）
A4 ボックスサイズに「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ（12mm 幅 10 個分）などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。

テープカートリッジケース（SR4TH）
A4 ボックスサイズにテープカートリッジ（12mm 幅 40 個分）が収納可能です。４つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。

MEMO

詳細については、当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧いただくか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

各部の名前とはたらき

●本機各部の名前

ディスプレイ

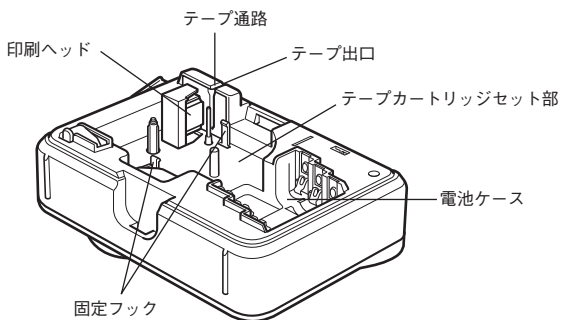
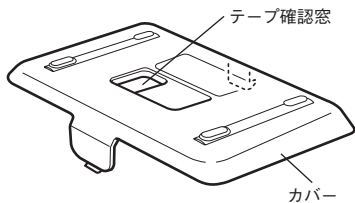
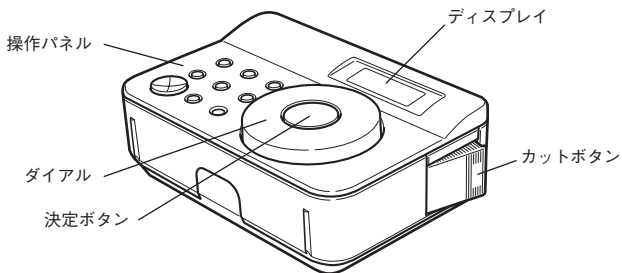
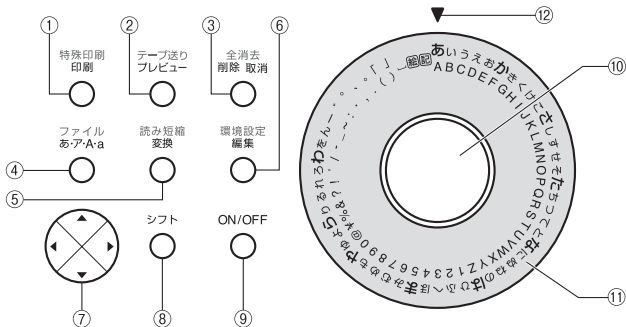
操作パネル

カットボタン

ダイアル

決定ボタン

テープ確認窓

カバー

ダイアルと操作パネルの名前とはたらき

各ボタンの機能を説明します。シフト + ◯ となっている表記は、シフト を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① 印刷 **（印刷）**

入力内容をテープに印刷します。

参照☞P.54

シフト + 印刷 **（＝特殊印刷）**

連続印刷、鏡文字印刷をします。

参照☞P.57

② プレビュー **（プレビュー）**

印刷イメージを確認します。

参照☞P.53

シフト + プレビュー **（＝テープ送り）**

テープを約18mm空送りします。

参照☞P.54

③ 削除 取消 **（削除、取消）**

カーソル位置（カーソル左側）の文字を削除します。
各種機能の操作中は操作が取り消されます。

参照☞P.35

シフト + 削除 取消 **（＝全消去）**

すべての文章を消去します。

参照☞P.35

④ あ·ア·A·a **（入力モード）**

入力モードを、「ひらがな→カタカナ→ABC（大文字）→abc（小文字）」の順で切り換えます。

参照☞P.24

シフト + あ·ア·A·a **（＝ファイル）**

ファイル操作（登録/呼出し/消去）をします。

参照☞P.60

⑤ 変換（変換）

ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。
ネガ文字がないときは、スペースを入力します。
参照☞P.30
漢字変換中は、次の変換候補を表示します。
参照☞P.27

（＝読み短縮）

漢字変換中、変換対象となる「読み」を短縮します。
参照☞P.28

⑥ 編集（編集）

ラベルの文字サイズ、書体、縦・横、外枠、余白、文字間、長さ、割付け、飾り字を指定します。
参照☞P.40

（＝環境設定）

印刷濃度と電池種類を設定します。
参照☞P.62

⑦ （カーソルボタン）

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。
参照☞P.34

シフト＋（＝カーソルジャンプ）

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。
参照☞P.34

⑧ シフト（シフト）

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上段に書かれた機能が働きます。
押しながらダイアルで対象の文字を入力すると、小文字を入力できます。

⑨ ON/OFF（電源）

電源をON/OFFします。
参照☞P.22

⑩（決定、改行）

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。
ネガ文字や点滅文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。
参照☞P.36

（＝改段落）

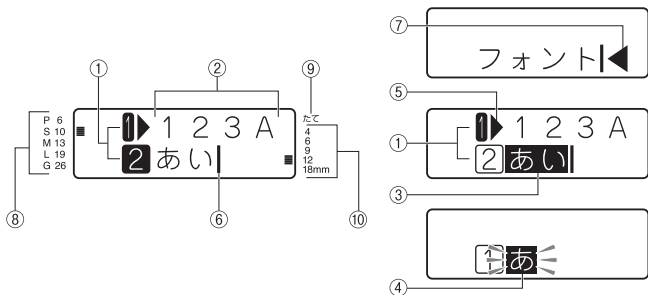
新しい段落を作ります。
参照☞P.38

⑪ ダイアル
（て S、ふ 2、° ・、ら %、絵 など）

文字を入力します。
絵・記を選択すると絵文字・記号メニューへ入ります。
参照☞P.33
機能選択時の選択肢や、漢字変換候補を選択します。

⑫ ▼（三角マーク）

この位置に合わせたダイアル内の文字や記号がディスプレイに表示されます。
参照☞P.24

ディスプレイの見かたとはたらき

① **行頭マーク（1 2…☒、1 2…☒）**

行頭に表示され、何行目かを示します。1、2は印刷できる行を表し、1、2はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。
☒、☒は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷できません。
参照 P.25、36

② **確定文字（例：123A）**

入力が確定した文字で、印刷されます。

③ **ネガ文字（例：あい）**

入力中の文字で印刷されません。変換で漢字に変換できます。
参照 P.27

④ **点滅文字**

ディスプレイ下にある三角マークに合わせているダイアル内の文字です。点滅表示の文字は印刷されません。

⑤ **文字モード指定マーク（▶）**

行、段落単位で、飾り字などの機能を変更すると表示されます。
参照 P.40

⑥ **カーソル（|）**

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除できます。
参照 P.34

⑦ **フルメモリーマーク（◀）**

入力可能文字数（約90文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑧ **文字サイズインジケーター**

カーソル位置の文字サイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数（pt）を表しています。
※ 1ptは約1/72インチ（約0.35mm）です。
参照 P.44

⑨ **縦書きインジケーター**

「縦書き」が指定されているときに点灯します。
参照☞P.47

⑩ **テープ幅インジケーター**

選択されているテープ幅のインジケーターが点灯します。
参照☞P.22

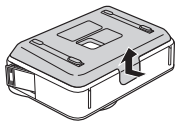
使う前の準備

1. 電池（別売）を入れる

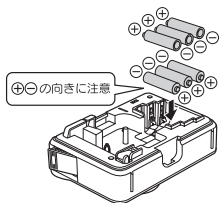
本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本:別売)をセットします。

❶ カバーをはずす

本機を裏返し、カバーを矢印の方向に押しあげてはずします。

注 意！

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 電源が入った状態で電池交換をおこなうと、今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されることがあります。

❷ 電池を入れる

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）を入れます。

注 意！

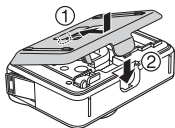
充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、環境設定から「電池種類」を設定してください。

参照☞ P.64「電池種類を変更する」

❸ カバーをはめる

本機上部にカバーの突起を合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。

続いてテープカートリッジをセットする場合は、カバーをはめずに次の項目の手順に進んでください。

注 意！

- テープカートリッジをしっかり押し込まずにカバーをはめると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- カバーはしっかりはめてください。

注 意！

- 本機には単3形アルカリ乾電池または単3形充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の乾電池は使用できません。
- ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で「電池種類」を「ニッケル水素」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
  参照 P.64「電池種類を変更する」
- 本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。

充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は、専用の充電器を使って充電すると使用できるようになります。ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。

- ＋－極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。＋－極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります（メモリー効果といいます）。
- メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
- お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので新しい電池をお買い求めください。
- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。
- 不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
  http://www.jbrc.net/hp

MEMO

- 電池が消耗すると、ディスプレイに「電池を交換！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形×6本)に交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、大きな文字ばかり印刷したりすると、電池が早く消耗します。

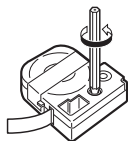
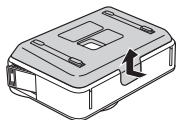
2. テープカートリッジをセットする

❶ インクリボンのたるみを取る

矢印方向に軽く巻いて、たるみを取ってください。

❷ カバーをはずす

本機を裏返し、カバーを矢印の方向に押しあげてはずします。

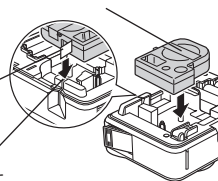
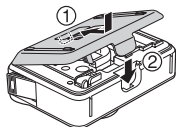
注 意！

必ず、電源を切ってからおこなってください。

❸ テープカートリッジをセットする

ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

ラベル面を上にする

テープの先端を
まっすぐに伸ばす

テープの先端を
「テープ通路」に通す

❹ カバーをはめる

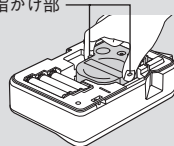
本機上部にカバーの突起を合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。

注 意！

- テープカートリッジをしっかり押し込まずにカバーをはめると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- カバーはしっかりはめてください。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mmの5種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数や文字の大きさは異なります。
  参照 P.36「テープ幅と印刷できる行数」
  参照 P.44「文字サイズを指定する」

MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。

3. 電源を入れる

電源を入れる前にもう一度確認してください。

- 電池は正しくセットされていますか？
  参照☞P.18「1. 電池（別売）を入れる」

❶ ON/OFF（電源）を押す

電源が入るとテープ幅選択メニューが表示されます。

❷ を数回押すか、ダイアルを回してセットされているテープカートリッジのテープ幅を選ぶ

注 意！

必ず本機にセットされているテープ幅を選択してください。異なったテープ幅を選択すると、正しい文字サイズで印刷することができません。間違えて選択してしまった場合は、再度電源を入れ、選択しなおしてください。

MEMO

選択したテープ幅はテープ幅インジケーターで確認できます。
参照☞ P.16「ディスプレイの見かたとはたらき」

❸ （決定ボタン）を押す

テープ幅が選択され、行頭マーク[1]とディスプレイ下にある三角マークに合わせているダイアル内の文字が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、前回入力した文章が表示されます。

参照☞P.16「ディスプレイの見かたとはたらき」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約 5 分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。ON/OFF（電源）をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしてください。

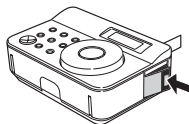
4. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」をしてください。

❶ シフト を押しながら プレビュー （＝テープ送り）を押す

テープが約18mm空送りされます。

テープ送り中

❷ テープが止まったら、カットボタンを押してテープをカットする

使い終わったら

●電源を切る

❶ ON/OFF （電源）を押す

電源が入っている状態で ON/OFF （電源）を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力したテキストやファイルなどのデータは、電池が正しくセットされていれば保存されています。再度電源を入れると、前回入力したテキストが表示されます。

注 意！

- 長期間使わないときは、電池、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。
- 本機、電池、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 登録したファイル、入力した文章、学習内容などのデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

文字を入力する

●文字入力の仕方

本機では、「ダイアル入力」で文字を入力します。ディスプレイ下にある三角マークに入力したい文字を合わせると、文字が点滅表示されます。

ダイアル上段の文字や記号は「ひらがな」または「カタカナ」入力モード、下段の文字や記号は「ABC(大文字)」または「abc(小文字)」入力モードで入力します。

「ひらがな」または
「カタカナ」入力モード

「ABC(大文字)」または
「abc(小文字)」入力モード

❶ あ·ア·A·a を数回押してディスプレイに表示されている文字を確認しながら、入力モードを選ぶ

ひらがな入力の場合

1 あ

❷ ダイアルを回し、ディスプレイ下にある三角マークに入力したい文字を合わせる

「き」が点滅表示されます。

1 き

❸ (決定ボタン)を押す

文字がネガ表示になり、次の文字を入力することができます。

MEMO

- 入力モードを選択するときは、ひらがなやアルファベットを三角マークに合わせてディスプレイを確認してください。記号に合わせていると入力モードの違いが見た目では分かりません。
- 英数字やダイアル内の記号は (決定ボタン) を押すとネガ表示されず、すぐに文字が確定します。

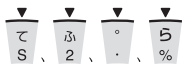
●ひらがな・カタカナを入力する

例：「てぷら」、「テプラ」を入力する

❶ あ·ア·A·a を数回押してディスプレイに表示されている文字を確認しながら、入力モードを選ぶ

ひらがな入力の場合　　カタカナ入力の場合

1 き　　1 キ

❷ 「てぷら」、「テプラ」を入力する

ネガ表示で入力されます。

MEMO

文字を入力するとき、ダイアルを回して三角マークに文字を合わせたら、必ず決定ボタンを押してください。文字がネガ表示になったら、ダイアルを回して次の文字を選択してください。

参照 P.24「文字入力の仕方」

❸ **（決定ボタン）を押す**

「てぷら」、「テプラ」が確定します。

行頭マークは 1 から 1 に変わります。

1 てぷら　　1 テプラ

MEMO

- 入力をまちがえたときは、削除 取消 で文字を消し、正しい文字を入力しなおします。
- ネガ文字は16文字まで入力できます。
- 濁音や半濁音は清音を入力したあとに、ダイアルを回しディスプレイ下にある三角マークに「゛」や「゜」を合わせ、（決定ボタン）を押してください。
- ダイアルに表記された記号（@、%、！など）を直接入力するときは、ダイアルを回してディスプレイ下にある三角マークに入力したい記号を合わせ、（決定ボタン）を押してください。

●拗音（「ゃ」「ぁ」など）・促音（「っ」）を入力する

例：「セット」を入力する

❶ あ·ア·A·a ◯ を数回押してディスプレイに表示されている文字を確認しながら、カタカナ入力モードを選ぶ

1 キ

❷「セ」を入力する

「セ」がネガ表示になります。

❸ シフト ◯ を押しながら「ツ」を入力する

「セッ」がネガ表示になります

❹ 続けて文字を入力する

MEMO

- 文字を入力するとき、ダイアルを回して三角マークに文字を合わせたら、必ず決定ボタンを押してください。文字がネガ表示になったら、ダイアルを回して次の文字を選択してください。
  参照 P.24「文字入力の仕方」

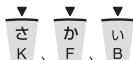
- ◎（決定ボタン）を押すまで シフト ◯ は押し続けてください。
- 拗音（「ゃ」、「ぁ」など）も同様に入力できます。
- 該当しない文字は シフト ◯ を押しながら入力しても通常通りの文字が入力されます。
  参照 P.78「入力文字表」

●漢字を入力する

漢字は、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

例：「堺」を入力する

❶ あ·ア·A·a ◯ を数回押してディスプレイに表示されている文字を確認しながら、ひらがな入力モードを選ぶ

❷ 「さかい」を入力する

「さかい」がネガ表示になります。

MEMO

文字を入力するとき、ダイアルを回して三角マークに文字を合わせたら、必ず決定ボタンを押してください。文字がネガ表示になったら、ダイアルを回して次の文字を選択してください。

参照☞ P.24「文字入力の仕方」

❸ 変換 ◯ を押す

「さかい」という読みの漢字候補が点滅表示されます。

変換 ◯ を押すたびに、候補が次々と表示されます。

候補は、熟語から先に表示されます。

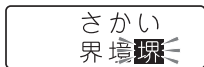
MEMO

文字がネガ表示になっていることを確認してから 変換 ◯ を押してください。
変換 ◯ を押すと点滅中の文字は削除されます。

❹ 変換 ◯ を数回押すか、ダイアルを回して「堺」を点滅表示させる

❺ ◎（決定ボタン）を押す

「堺」が確定します。

参考

漢字の読みを短くする（読み短縮）

目的の漢字が変換した漢字候補の中に見つからないときは、漢字変換中に シフト ＋ 変換（＝読み短縮）を押すと、漢字変換の対象とする読みを短くすることができます。

例：「ろくがつ」の読みを短くする。

1 「ろくがつ」を入力して 変換 を押す

1番目の候補が点滅します。

2 シフト を押しながら 変換 を押す

押すたびに読みが短くなり、順に「ろくが」→「ろく」→「ろ」という読みの候補が点滅表示されます。

MEMO

- 一度に入力できる「読み」は16文字までです。ただし表示は最大6文字までです。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- 漢字候補が表示されているときにダイアルを回して候補を選択できます。
- 漢字候補が表示されているときに ◀ または ▲ を押すと前の候補が表示されます。また、シフト を押しながら ▶ または ▼ を押すと最後の候補が、シフト を押しながら ◀ または ▲ を押すと最初の候補が表示されます。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 変換をやめるときは 削除 取消 を押してください。

●英数字を入力する

英数字を入力するときは、入力モードを「ABC（大文字）入力」または「abc（小文字）入力」にして、直接入力します。

例：「BOX」、「box」を入力する

1 あ·ア·A·a ◯ を数回押してディスプレイに表示されている文字を確認しながら、入力モードを選ぶ

ABC（大文字）入力の場合　abc（小文字）入力の場合

2 「BOX」、「box」を入力する

MEMO

- 文字を入力するとき、ダイアルを回して三角マークに文字を合わせたら、必ず決定ボタンを押してください。文字が確定したら、ダイアルを回して次の文字を選択してください。
  参照☞P.24「文字入力の仕方」

決定ボタン

- シフト ◯ を押しながら入力すると、「ABC（大文字）入力」モードのときは小文字を、「abc（小文字）入力」モードのときは大文字を入力できます。

●スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「␣」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分空白になります。

❶ ダイアルを回し、ディスプレイ下にある三角マークに「␣」（半角スペース）を合わせ、◎（決定ボタン）を押す

半角スペースが入力されます。

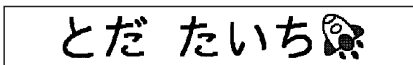
MEMO

- ネガ文字がないときに変換〇を押しても「␣」（半角スペース）を入力することができます。
- スペースには、半角スペース（␣）のほかに、1文字分の全角スペース（＿＿）があり、記号メニューで入力します。
  参照☞P.30「絵文字・記号を入力する」

●絵文字・記号を入力する

ダイアル内に表示されていない絵文字や記号は、絵文字・記号メニューから指定します。

例：末尾に絵文字の「🚀」を挿入する

とだ たいち🚀

❶ ダイアルを回し、ディスプレイ下にある三角マークに「絵」を合わせ、◎（決定ボタン）を押す

絵文字メニューが表示されます。

❷ ◇またはダイアルを回して「乗り物」を選び、◎（決定ボタン）を押す

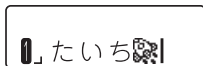
絵文字
乗り物

「乗り物」の絵文字が表示されます。

❸ またはダイアルを回して「」を選ぶ

❹ （決定ボタン）を押す

「」が入力されます。

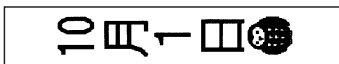
たいち

手順❶で「記」を選ぶと、同様の操作で記号を入力できます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 を押し、操作を戻します。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 入力できる絵文字・記号は、「絵文字・記号一覧表」を参考にしてください。
  参照 P.88「絵文字・記号一覧表」
- 一度選択した絵文字や記号は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のはたらきをします。
  罫（罫入力記号）：縦罫線を入力します。
  ␣（全角スペース）：全角スペースを入力します。

●2桁数字を入力する

2桁の数字を1文字分として入力したい場合は、「2桁数字」を使います。
縦書きのラベルで使用すると、きれいに揃えて印刷できます。

例 ：「10月1日」を入力する

❶ 編集 を押し、またはダイアルを回して「縦・横」を選び、「縦書き」を指定する

参照 P.47「ラベルの向きを変える（縦・横）」

❷ ダイアルを回し、ディスプレイ下にある三角マークに「記」を合わせ、（決定ボタン）を押す

記号メニューが表示されます。

❸ またはダイアルを回して「2桁数字」を選び、（決定ボタン）を押す

記号
2桁数字 99

2桁数字の数値選択画面が表示されます。

❹ ダイアルを回して「10」を選択し、（決定ボタン）を押す

カーソル位置に「10」が表示されます。

❺ 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときは（削除 取消）を押し、操作を戻します。
- ネガ文字があるときは、入力できません。
- テキスト画面での入力では2桁数字にはなりません。

●絵文字・記号メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。
選択できる絵文字・記号は、P.88「絵文字・記号一覧表」を参照してください。

①絵文字

絵文字を入力します。

参照 P.88

メニュー		選択肢
動物	▶	絵文字選択
虫・魚	▶	
花・草木	▶	
乗り物	▶	
食べ物	▶	
雑貨	▶	
趣味	▶	
予定	▶	
シーズン	▶	
暮らし	▶	
顔	▶	
学校	▶	
仕事	▶	
星座	▶	
干支	▶	
表示	▶	

②記号

記号を入力します。

参照 P.91

メニュー		選択肢
記述	▶	記号選択
省略	▶	
カッコ	▶	
矢印	▶	
○△□	▶	
単位	▶	
数字	▶	
2 桁数字	▶	数値選択
ギリシャ	▶	記号選択
欧州	▶	
編集	▶	

文章を作る

文章を入力し、文字を挿入、削除したり、全文を消去するなどの編集方法を説明します。

●カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「┃」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。

1定期点検┃

カーソル

カーソルの移動にはカーソルボタンを使います。

本機のディスプレイには最大6文字×2行で表示されます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが､カーソルを移動すれば確認できます。

：左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。

：右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。

：前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。

：次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。

シフト＋：行頭へ移動します｡繰り返すと､さらに前の行の行頭へと移動します。

シフト＋：行末へ移動します｡繰り返すと､さらに次の行の行末へと移動します。

シフト＋：段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。

シフト＋：段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

シフト＋となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です。

注意!

カーソルボタンが２重で押されると､カーソルが斜めに移動することがあります。

●文章を入力する

文字はダイアルで入力し、変換を押して漢字などに変換します。

参照 P.24「文字を入力する」

1定期点検┃

●文字を削除する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ 削除 取消 を押すと文字が削除されます。

1点検実施

●文字を挿入する

文字を挿入したいところにカーソルを合わせて入力します。

1特別点検

注意！

挿入によって文字数が入力可能文字数（約 90 文字）をオーバーするときは、文字を挿入できません。

●すべての文章を消去する

入力した文章をすべて消去するときは「全文消去」をおこないます。
シフト を押しながら 削除 取消（＝全消去）を押し、「実行？」と表示されたら（決定ボタン）を押します。

全文を消去
実行？

注意！

全文消去では、入力中の文章と書体などの指定内容が消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 を押し、操作を戻します。
- 全文消去では、ファイル、漢字などの学習内容は消去されません。すべてを購入時の設定に戻したいときは、初期化してください。
  参照 P.65「本機を初期化する」

行を増やす（改行）

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（ （決定ボタン）を押します)。

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから18mmまでの幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm
印刷可能な行数	1 行まで	2 行まで	3 行まで	3 行まで	3 行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク1 2…X、1 2…Xと、実質行頭マーク1 2…X、1 2…Xの2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- X Xはこれ以上行数を増やせないことを表示しています。Xの表示があるときに 印刷 を押しても「行数オーバー」が表示されます。Xのある行を削除してから印刷をおこなってください。
  参照 P.71「こんな表示が出たときは－行数オーバー」

●新しい行を作る

行の終わりで （決定ボタン）を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例 ： 2行の文章を入力する

くま組
いのうえ ゆうき

❶ 「くま組」を入力し、 （決定ボタン）を押す

2行目に行頭マークが表示されます。

1くま組|

1くま組
2|

（決定ボタン）

❷「いのうえ␣ゆうき」を入力する

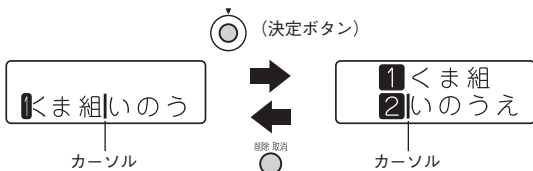
MEMO

ネガ文字や点滅文字があるときは、◎（決定ボタン）を押しても改行できず、文字が確定します。

参照☞ P.16「ディスプレイの見かたとはたらき ー ②確定文字」

●行の途中で改行する/改行を取り消す

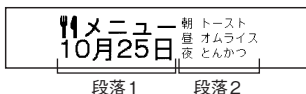
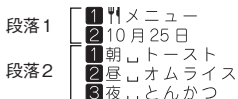
行の途中で◎（決定ボタン）を押すと、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

行頭マークにカーソルを合わせて 削除 取消 ○ を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

段落を増やす（改段落）

下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行)」のことです。
本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に2段落まで作ることができます。
段落を活用すると、いろいろな行を混在させたり、絵文字だけを大きくするデザイン性の高いラベルを作成することができます。

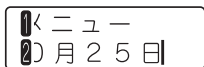
段落が2つのラベル

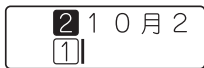
印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形式で表示されます。

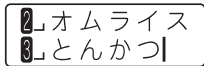
【ラベルは】

【画面上では】

●新しい段落を作る

シフト を押しながら （決定ボタン）（＝改段落）を押すと、新しい段落ができます。

❶ 段落1を入力する

1行目「 メニュー」
2行目「10月25日」と入力します。

❷ 文末にカーソルを合わせ、 シフト を押しながら （決定ボタン）（＝改段落）を押す

新しい段落が発生し、1が表示されます。

❸ 段落2を入力する

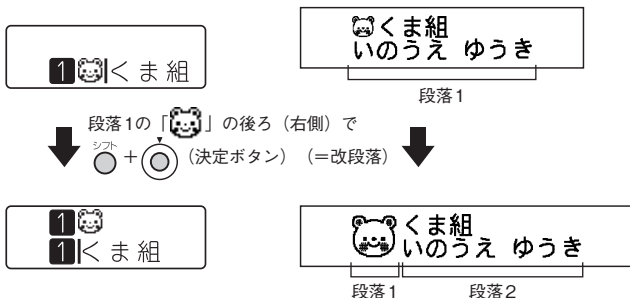
1行目「朝␣トースト」
2行目「昼␣オムライス」
3行目「夜␣とんかつ」 と入力します。

2␣オムライス
3␣とんかつ

MEMO

- ネガ文字や点滅文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
  参照 P.16「ディスプレイの見かたとはたらき ー ②確定文字」
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。

●段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例 ：新しい段落を増やす

段落1

段落1の「」の後ろ（右側）で

（決定ボタン）（＝改段落）

段落1　段落2

MEMO

- ネガ文字や点滅文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
  参照 P.16「ディスプレイの見かたとはたらき ー ②確定文字」
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落指定値の内容は、もとの段落と同じです。
- 文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズの指定は解除され、初期設定値になります。
  参照 P.44「文字サイズを指定する」
- 2段落目の行頭マーク**1**にカーソルを合わせて（削除 取消）を押すと、その行の文章は1段落目の最後の行に移動し、連結されます。このとき2段落目の残りの文章は、1行つまった状態で2段落目に残ります。2段落目が1行のみの場合は、1段落目に連結することで2段落目がなくなります。

編集○の機能を使いこなす

書体や外枠を指定して、見栄えの良いラベルを作成することができます。

ラベルの見た目を変えるには、編集○を押して表示されるメニューから機能を選択します。

機能によって指定可能な範囲（行単位、文章全体など）が異なります。

編集○の機能

機能	内容	指定範囲
文字サイズ	文字の大きさを変更します。	文章全体、段落単位
書体	文字の書体を変更します。	文章全体
縦・横	ラベルの向きを変更します。	文章全体
外枠	ラベルの外枠を指定します。	文章全体
余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。	文章全体
文字間	文字の間隔を変更します。	文章全体
定長印刷	印刷するラベルの長さを数値で指定します。	文章全体
割付け	各行の割り付け位置を指定できます。	文章全体、段落単位
飾り字	白抜き、影文字、白抜影、斜体、強調の装飾をします。	文章全体、行単位、段落単位

指定範囲とカーソルの位置について

文字サイズ機能、割付け機能、飾り字機能では、有効範囲の指定をおこないます。
次の表を参考に、カーソルの位置と有効範囲について確認してください。

指定範囲の選択肢	カーソルの位置と有効範囲	説明
文章全体	カーソル位置 1段落目 1あいうえお 2かきくけこ 1あいうえお　有効範囲 2段落目	カーソルの位置に関係なく文章全体を指定 テキスト画面上は何も変わりません。
この行	1▶あいうえお　有効範囲 2かきくけこ 1あいうえお	カーソルのある行のみ指定 指定した行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示されます。
この段落	1▶あいうえお 2▶かきくけこ　有効範囲 1あいうえお	カーソルのある段落のみ指定 指定した段落の各行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは 編集 機能を使用できません。
- 「▶（文字モード指定マーク)」は印刷されません。
- 「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、「文章全体」で指定した内容、または初期設定値を反映します。
- 「文章全体」を指定した場合、「▶」は表示されません。
- 「割付け」、「文字サイズ」で「この段落」を指定しても、「▶」は表示されません。

●編集メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	選択肢	選択肢	選択肢
文字サイズ ▶	**均等** ▶	範囲は？ **文章全体** この段落	
文字サイズ 文字の大きさを指定します。 参照☞P.44	1行 ▶	**特大** ▶ 大 中 小	範囲は？ **文章全体** この段落
	2行 ▶	**大大** ▶ 中中 大細 大小 小大 細大	範囲は？ **文章全体** この段落
	3行 ▶	**均等** ▶ 1大 2大 3大	範囲は？ **文章全体** この段落

メニュー	選択肢	選択肢
書体 ▶ **書体** 書体を指定します。 **参照☞P.46**	**ゴシック** 明朝体 てがき	
縦・横 ▶ **縦・横** ラベルの向きを切り換えます。 **参照☞P.47**	**横書き** 縦書き	
外枠 ▶ **外枠** 外枠を指定します。 **参照☞P.48**	外枠選択	
余白 ▶ **余白** ラベルの前後の余白を調整します。 **参照☞P.49**	**ふつう** 極少	
文字間 ▶ **文字間** 文字間隔を調整します。 **参照☞P.50**	**ふつう** 密着	
定長印刷 ▶ **定長印刷** 印刷するラベルの長さを数値で指定します。 **参照☞P.50**	**しない** 1.0 cm ▶ : 99 cm	**前寄せ** 中寄せ 均等割 後寄せ

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、指定の途中で 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 指定内容は、各機能の選択肢を表示させて確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 書体、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 機能を指定した場合には、プレビューでイメージを確認することをおすすめします。

編集 機能の説明

各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.41「編集メニュー一覧」で確認できます。

●文字サイズを指定する

文字の大きさを変更します。

❶ 編集 を押し、 またはダイアルを回して「文字サイズ」を選び、 （決定ボタン）を押す

編集
文字サイズ

❷ またはダイアルを回して入力した文章もしくは段落の行数を選び、 （決定ボタン）を押す

文字サイズ
1行

❸ またはダイアルを回して文字サイズを選び、 （決定ボタン）を押す

P 6
S 10
M 13
L 19
G 26

1行
中 1c

❹ またはダイアルを回して範囲を選び、 （決定ボタン）を押す

範囲は？
この段落

選択できる文字サイズは、次のようになります。表示されるピクトグラフ（行の大小）で各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

太字は購入時の初期設定値です。

ラベルの行数	選択肢
1行	**特大 1a**、大 1b、中 1c、小 1d
2行	**大大 2a**、中中 2b、大細 2c、大小 2d、小大 2e、細大 2f
3行	**均等 3a**、1大 3b、2大 3c、3大 3d

1行の文字サイズ

特大1a・大1b・中1c・小1dと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル	美	美	美	美	美
文字サイズ［pt］／テープ幅	G［26］	L［19］	M［13］	S［10］	P［6］
18mm	特大	大	中	小	－
12mm	特大	大	中	小	－
9mm	－	特大	大	中	小
6mm	－	－	特大	大	中、小
4mm	－	－	－	－	特大､大､中､小

※「G」「L」「M」「S」「P」は文字サイズを表す「テプラ」PRO共通の呼称です。
1ptは約1/72インチ（約0.35mm）です。

注 意！

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、印刷できない文字サイズもあります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された文章の行数が異なる場合は、実際の行の初期設定値で印刷されます。
- 書体、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 12mm幅テープと18mm幅テープで印刷される最大文字サイズは同じです（最大印刷幅は9.0mmです）。
- 段落ごとに指定する場合は､先にカーソルを指定したい段落に移動させてください。
- 初期設定値（均等）に戻すには､「文字サイズ」で「均等」を指定してください。
- 「この段落」を指定しても､「▶」は表示されません。

●書体を変える

文字の書体は3種類あります。

❶ 編集 を押し、◇ またはダイアルを回して「書体」を選び、◎（決定ボタン）を押す

編集
書体

❷ ◇ またはダイアルを回して目的の書体を選び、◎（決定ボタン）を押す

書体
明朝体

■書体例：

ゴシック

Cuteな文字

明朝体

Cuteな文字

てがき

Cuteな文字

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 「てがき」の漢字書体は「ゴシック」と同じです。
- 段落ごとや行ごと、文字ごとに指定することはできません。
- 英数字は文字間を狭くすると見栄えが良くなります。
  参照☞P.50「文字間を指定する」
- 書体、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

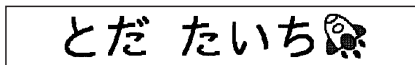
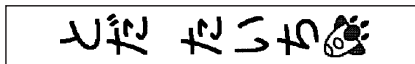
●ラベルの向きを変える（縦・横）

ラベルの向きを「縦書き」または「横書き」に変更できます。

横書きラベル（購入時の初期設定値）

とだ たいち

縦書きラベル

とだ たいち

❶ 編集 を押し、◁▷またはダイアルを回して「縦･横」を選び、◎（決定ボタン）を押す

編集
縦・横

❷ ◁▷またはダイアルを回してラベルの向きを選び、◎（決定ボタン）を押す

縦・横
縦書き
たて

テキスト画面では、文字の向きは変わりませんが、縦書き・横書きの指定はインジケーターで確認できます。

参照 P.16「ディスプレイの見かたとはたらき」

MEMO

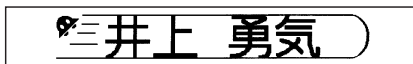
- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 横書きに指定されている場合は、縦書きインジケーターは消灯しています。
- 段落ごとや行ごと、文字ごとに指定することはできません。

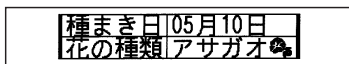
●外枠をつける

文章の周りに外枠や表組みをつけられます。

なし（購入時の初期設定値）
外枠をつけません。

外枠（01～66）
文章のまわりに外枠をつけます。

井上　勇気

表組み（67～70）
文章を枠で囲み、行間に横罫線を引き、段落間に縦罫線を引きます。
参照☞P.38「段落を増やす（改段落）」

種まき日	05月10日
花の種類	アサガオ

❶ 編集 を押し、◇ またはダイアルを回して「外枠」を選び、◎（決定ボタン）を押す

❷ ◇ またはダイアルを回して目的の外枠を選び、◎（決定ボタン）を押す

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 文章全体に外枠をつけます。段落ごとや文字ごとに指定することはできません。
- 指定できる外枠のデザインは「外枠一覧表」を参考にしてください。
  参照☞P.93「外枠一覧表」

●余白を指定する

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約1mm）　　ふつう（余白：前後約10mm）

余白

❶ 編集 を押し、 またはダイアルを回して「余白」を選び、 （決定ボタン）を押す

❷ またはダイアルを回して余白を選び、 （決定ボタン）を押す

余白
極少

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 余白「極少」を指定すると、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットしてください。
  参照 P.54「印刷する」

●文字間を指定する

文字の間隔を指定します。

密着	ふつう（購入時の初期設定値）
ロロ文字間	ロロ文字間

❶ 編集 を押し、◇またはダイアルを回して「文字間」を選び、◎（決定ボタン）を押す

編集
文字間

❷ ◇またはダイアルを回して文字間を選び、◎（決定ボタン）を押す

文字間
密着

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 小さい文字に「密着」を指定しても、効果がないことがあります。
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。
- 英数字は文字間を狭くすると見栄えが良くなります。

●定長印刷を指定する

印刷するラベルの長さを数値（1.0cm〜99cm）で指定します。
長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。

❶ 編集 を押し、◇またはダイアルを回して「定長印刷」を選び、◎（決定ボタン）を押す

編集
定長印刷

❷ ◇またはダイアルを回して長さを選び、◎（決定ボタン）を押す

定長印刷
1.0cm

❸ ◇またはダイアルを回して印刷位置を選び、◎（決定ボタン）を押す

定長1.0cm
前寄せ

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- 定長印刷で表示される長さは、1.0〜2.0cmまでは0.1cmごと、2.0〜4.0cmまでは0.2cmごと、4.0〜10.0cmまでは0.5cmごと、10〜99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」と表示され、定長印刷できません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 2段落の文章で印刷位置「均等割」を指定すると、2つの段落はそれぞれラベルの両端に配置されます。

Dear Yuki　　From Rena

●割付けを指定する

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
均等割	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
後揃え	行末を揃えます。

1. 編集 を押し、 またはダイアルを回して「割付け」を選び、 （決定ボタン）を押す

   編集
   割付け

2. またはダイアルを回して割付けを選び、 （決定ボタン）を押す

   割付け
   中揃え

3. またはダイアルを回して範囲を選び、 （決定ボタン）を押す

   範囲は？
   この段落

●MEMO●
- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 ◯ または 編集 ◯ を押し、操作を戻します。
- 文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。
- 段落ごとに指定する場合は、先にカーソルを指定したい段落に移動させてください。
- 「この段落」を指定しても、「▶」は表示されません。

●飾り字を指定する

文字の装飾を指定します。

ふつう（購入時の初期設定値）	白抜き	影文字	白抜影	斜体	強調
A	A	A	A	A	A

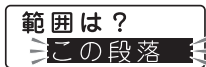
1 編集 ◯ を押し、◈ またはダイアルを回して「飾り字」を選び、◎（決定ボタン）を押す

編集
飾り字

2 ◈ またはダイアルを回して飾り字を選び、◎（決定ボタン）を押す

飾り字
A 白抜き

3 ◈ またはダイアルを回して範囲を選び、◎（決定ボタン）を押す

範囲は？
この段落

●MEMO●
- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 ◯ または 編集 ◯ を押し、操作を戻します。
- 書体、文字サイズ、行数、装飾または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- 段落や行ごとに指定する場合は、先にカーソルを指定したい段落や行に移動させてください。

印刷を始める前に

●印刷イメージを確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1 選択されているテープ幅を確認する

選択されているテープ幅と、セットされているテープカートリッジのテープ幅が一致しているかどうかを確認してください。

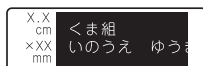
一致していないと、印刷イメージが実際の印刷結果とは異なって表示されます。

選択しているテープ幅は、テープ幅インジケーターで確認できます。

参照 P.16「ディスプレイの見かたとはたらき」

2 プレビュー を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- プレビュー中に あ·ア·A·a 、変換 、 のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- プレビューを途中でやめるときは 削除 取消 または （決定ボタン）を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま （決定ボタン）を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

注 意！

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面のときだけです。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、プレビューは表示されません。
  参照 P.71「こんな表示が出たときは－行数オーバー」
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

テープ送り

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」をしてください。

●テープ送りをする

シフト を押しながら プレビュー （=テープ送り）を押す

約18mmの長さを空送りします。

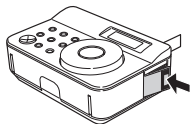
テープ送り中

印刷する

印刷する前に、テープカートリッジと電池を正しくセットしているか、カバーがしっかりはまっているかを確認してください。

1. **印刷 を押す**
   「準備中」と表示されたあと、ラベル長さと印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

長さ　X .Xcm
X 枚

2. **テープが止まったら、カットボタンを押してテープをカットする**

MEMO

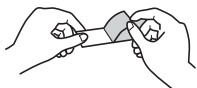
- 印刷を途中でやめるときは 削除 取消 を押してください。印刷を中止し、テープを約12mm空送りしたあとテキスト画面に戻ります。
- 印刷中に ON/OFF（電源）を押すと印刷を中止し、テープを約12mm空送りしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少」を指定するとラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると、余白が「極少」のラベルができあがります。
  参照 P.49「余白を指定する」

- 特殊印刷（連続印刷、鏡文字印刷）をおこなう場合は、シフト＋印刷（＝特殊印刷）で印刷します。
  参照 P.57「特殊な印刷」
- 印刷中はモーター音がしますが、異常ではありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま（決定ボタン）を押すと、定長を解除して印刷を強行します。
- 裏紙がケバ立ってカットされることがありますが、ラベルには影響ありません。
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- ネガ文字、点滅文字は印刷されません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
  参照 P.71「こんな表示が出たときはー行数オーバー」
- セットされているテープと異なったテープ幅を選択していると、正しい文字サイズで印刷することができません。本機にセットされているテープ幅を選択してください。
  参照 P.22「3. 電源を入れる」

注意!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼんは、本機のカッターを使わずにテープカートリッジを本機から取り出し、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
  参照 P.69「テープカートリッジを使いわける」
- 印刷中はカットボタンを押さないでください。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 印刷中にカバーをはずすと、正常に印刷できません。印刷中にはカバーをはずさないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。

ラベルを貼る

1 ラベルの裏紙をはがす

2 しっかりとこすって貼り付ける

MEMO

「テプラ」PRO テープには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照 P.69「テープカートリッジを使いわける」

特殊な印刷

シフト ◯ を押しながら 印刷 ◯ （＝特殊印刷）を押すと、連続印刷、鏡文字印刷といった特殊な印刷を指定できます。

●特殊印刷メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

MEMO

連続印刷の選択肢で表示される枚数は、1 ～ 10 枚までは 1 枚ごと、10 ～ 20 枚までは 2 枚ごと、20 ～ 50 枚までは 5 枚ごと、50 ～ 100 枚までは 10 枚ごとに変化します。

●連続印刷をする

同じラベルを指定した枚数分、連続して印刷できます。

1 文章を入力し、シフトを押しながら印刷（＝特殊印刷）を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

2 またはダイアルを回して「連続印刷」選び、（決定ボタン）を押す

特殊印刷
連続印刷

3 またはダイアルを回して印刷する枚数を指定し、（決定ボタン）を押す

連続印刷
12 枚

指定した枚数のラベルがつながって印刷されます。

注 意！

特殊印刷は「特殊印刷」メニューで指定値を選択し、（決定ボタン）を押すと印刷が実行されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは削除 取消を押し、操作を戻します。
- 指定された枚数分のラベルがつながって印刷されます。
- ラベルとラベルの間にカットマークが印刷されます。市販のハサミでカットマークをカットしてください。

- 連続印刷指定したラベルが一度に印刷できる長さ（16m）におさまらないときは、「長さオーバー」と表示され印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどして、ラベルの長さを短くしてください。
- 指定できる枚数は100枚までです。

●鏡文字印刷をする

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

鏡文字印刷した場合

鏡文字印刷しない場合

鏡文字
印刷

❶ 文章を入力し、シフトを押しながら印刷（＝特殊印刷）を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷ またはダイアルを回して「鏡文字印刷」を選び、（決定ボタン）を押す

特殊印刷
鏡文字印刷

鏡文字ラベルが印刷されます。

注 意！

特殊印刷は「特殊印刷」メニューで指定値を選択し、（決定ボタン）を押すと印刷が実行されます。

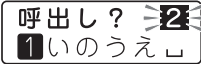
MEMO

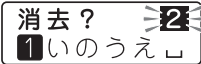
操作を途中でやめるときは削除 取消を押し、操作を戻します。

文章を呼び出す・登録する（ファイル）

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。おなまえシールなどのように、同じ内容を繰り返し印刷することが多いラベルの作成時に便利です。

●ファイルを登録する

1. シフト を押しながら あ･ア･A･a （＝ファイル）を押す
2. またはダイアルを回して「登録」を選び、（決定ボタン）を押す
   ファイル
   登録
3. またはダイアルを回して登録番号を選び、（決定ボタン）を押す
   登録
   ファイル　2
4. 内容を確認し、（決定ボタン）を押す
   で文章を確認できます。
   「登録実行」と表示されます。
   登録確認　2
   1いのうえ␣
   登録実行　2

注意！

- 「登録実行」表示中は電源を切らないでください。ファイルが壊れる場合があります。
- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上、本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
- 電池を交換する程度の時間（約2分間）は、バックアップ用の回路によって電源が供給されますが、電池交換は速やかにおこなってください。
- 長期間保存した結果、電池が消耗してデータが失われることがあります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または あ･ア･A･a を押し、操作を戻します。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- ファイルは5件まで登録できます。
- データがいっぱいで登録できない場合は「ファイル満員」と表示されます。不要なファイルを削除してください。
  参照 P.72「こんな表示が出たときは－ファイル満員」

●ファイルを呼び出す

❶ シフト を押しながら あ·ア·A·a （＝ファイル）を押す

❷ またはダイアルを回して「呼出」を選び、（決定ボタン）を押す

❸ またはダイアルを回して番号を選び、

（決定ボタン）を押す

呼出し？ 2
1いのうえ ␣

❹ 内容を確認し、（決定ボタン）を押す

で文章を確認できます。

呼出確認 2
1いのうえ ␣

「呼出実行」と表示され、文章が呼び出されます。

●ファイルを消去する

❶ シフト を押しながら あ·ア·A·a （＝ファイル）を押す

❷ またはダイアルを回して「消去」を選び、（決定ボタン）を押す

❸ またはダイアルを回して番号を選び、

（決定ボタン）を押す

消去？ 2
1いのうえ ␣

❹ 内容を確認し、（決定ボタン）を押す

で文章を確認できます。

消去確認 2
1いのうえ ␣

「消去？」 が点滅します。

❺ （決定ボタン）を押す

「消去実行」と表示され、ファイルが消去されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または あ·ア·A·a を押し、操作を戻します。
- ネガ文字があるときは操作できません。

環境設定を変更する

印刷濃度と電池種類の設定を変更することができます。

●環境設定メニュー一覧

シフト を押しながら 編集 （=環境設定）を押すと、印刷濃度や電池の種類を変更できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー	選択肢
印刷濃度 ▶ 印刷濃度 印刷濃度を設定します。 参照 P.63	-3 ： **ふつう** ： ＋3
電池種類 ▶ 電池種類 使用する電池の種類を設定します。 参照 P.64	**アルカリ** ニッケル水素

●印刷濃度を調整する

印刷濃度は「－3〜ふつう〜＋3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

❶ シフト を押しながら 編集（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

❷ またはダイアルを回して「印刷濃度」を選び、（決定ボタン）を押す

環境設定
印刷濃度

❸ またはダイアルを回して濃度を調整し、（決定ボタン）を押す

印刷濃度
＋３

印刷濃度が設定されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 耐熱ラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベルで印字がカスレた場合は「＋3」に設定してください。
  参照☞P.69「テープカートリッジを使いわける」
- 印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機の初期化をおこなってください。
  参照☞P.65「本機を初期化する」

●電池種類を変更する

本機では単3形アルカリ乾電池の他に、単3形充電式ニッケル水素電池もご使用いただけます。
単3形充電式ニッケル水素電池をご使用になる際には電池設定を「ニッケル水素」に変更してください。

❶ シフト を押しながら 編集（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

❷ ◇またはダイアルを回して「電池種類」を選び、

◎（決定ボタン）を押す

環境設定
電池種類

❸ ◇またはダイアルを回して電池種類を選び、

◎（決定ボタン）を押す

電池種類
ニッケル水素

電池種類が設定されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除 取消 または 編集 を押し、操作を戻します。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 初期設定値は「アルカリ」に設定されています。
- 再びアルカリ乾電池を使用する際には、同じ手順で「アルカリ」を設定してください。
- 電池種類は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
  参照 P.65「本機を初期化する」

注 意!

電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
参照 P.18「1. 電池（別売）を入れる」

本機を初期化する

注 意！

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
  なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容＼機能		初期化	全文消去（P.35）
入力	テキスト画面の文章	●	●
	入力モード	●	−
データ	ファイルデータ	●	−
	学習データ	●	−
環境設定	印刷濃度の設定値	●	−
	電池種類	●	−

●　：　ご購入時の状態に戻ります。
−　：　保持されます。

●初期化する

❶ ON/OFF（電源）を押して電源を切る

注 意！

ON/OFF（電源）を押しても電源が切れないときには、電池を抜いてください。次にもう一度電池をセットし、再度 ON/OFF（電源）を押して電源を入れます。
以降は手順❶からの操作で初期化してください。

❷ （決定ボタン）と 削除 取消 を押しながら ON/OFF（電源）を押す

「本体初期化？」が点滅します。

本体初期化？

注 意！

- 初期化をやめるときは（決定ボタン）以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
  今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

❸ （決定ボタン）を押す

「初期化　実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、テープ幅選択画面が表示されます。

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

❶ シフト ◯ を押しながら 削除 取消 ◯ （＝全文消去）を押し、全文消去をおこなう

全文を消去
実行？

●注意！●

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照☞ P.35「すべての文章を消去する」

❷「demo」と入力する

参照☞P.29「英数字を入力する」

1 d e m o |

❸ シフト ◯ を押しながら 変換 ◯ を押す

デモ印刷がおこなわれます。

●注意！●

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
  参照☞巻末「アフターサービスについて」

●MEMO●

- 文字を入力するとき、ダイアルを回して三角マークに文字を合わせたら、必ず決定ボタンを押してください。文字が確定したら、ダイアルを回して次の文字を選択してください。
  参照☞P.24「文字入力の仕方」

決定ボタン

- 印刷を途中でやめるときは、削除 取消 ◯ を押します。

見本

12mm幅テープ
（75％縮小）

復刻「テプラ」

初代「テプラ」のダイアル入力が復活
豊富な絵文字・外枠を搭載

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
カッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・蓄光ラベル・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、本機のカッターでカットしない。 ②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを 3mm（りぼんの場合は 10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル	印刷濃度を「＋ 3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「＋ 3」に設定して印刷する。 **参照☞P.63「印刷濃度を調整する」**
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	「特殊印刷」で「鏡文字印刷」をする。 **参照☞ P.59「鏡文字印刷をする」**

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

注 意！

- テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。
  参照☞P.54「テープ送りをする」
- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブ（φ 5mm）をご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
  φ 11mm熱収縮チューブは本機では使用できません。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本体の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本体から取り外してください。
- 転写テープとカットラベルは、本機では使用できません。
- 「テプラ」PROテープカートリッジには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
  同梱のテープカタログや当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧ください。

こんな表示が出たときは

●ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

●エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形）に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。 **参照☞ P.18「1. 電池（別売）を入れる」**
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 **参照☞ P.36「テープ幅と印刷できる行数」**
定長→字余り	定長で指定した長さに文章がおさまりません。文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 **参照☞ P.50「定長印刷を指定する」**
定長→字余り 強行？	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で（印刷）や（プレビュー）を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま◎（決定ボタン）を押すと、定長を解除して印刷またはプレビューを強行します。 **参照☞ P.50「定長印刷を指定する」**

エラーメッセージ	原因・対処
ファイル満員	ファイルを登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイルを消去してください。 **参照 P.61「ファイルを消去する」**
ファイル無し	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照 P.60「ファイルを登録する」**
モーター 異常！	モーター動作に不具合がありました。電源を一旦切って再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 **参照 巻末「アフターサービスについて」**
特殊印刷不能	指定した連続印刷の内容では、一度に印刷できるラベルの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、枚数を減らすか、文字数を減らすかなどして、ラベルの長さを短くしてください。

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照 巻末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をしてください。

参照☞P.65「本機を初期化する」

ON/OFF ◯（電源）を押してもディスプレイに何も表示されない

- **電池は正しくセットされていますか？**
  電池の向きが(+)(−)逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、すべての電池が正しくセットされているか確認してください。
  参照☞P.18「1. 電池（別売）を入れる」
- **電池が消耗していませんか？**
  消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

ディスプレイが消える

- **オート・パワーオフ機能ではありませんか？**
  本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。
- **操作を間違えませんでしたか？**
  本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

印刷 ◯を押しても何も印刷されない

- **文章が入力されていますか？**
  テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。
- **ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？**
  エラーメッセージが表示されていると印刷されません。
  参照☞P.71「こんな表示が出たときは」
  準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。
- **消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？**
  テープカートリッジのテープがなくなっていたり、カバーを正しくはめていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、カバーをしっかりはめてください。
  参照☞P.20「2. テープカートリッジをセットする」

文字がきちんと印刷されない

● **テープカートリッジは正しくセットされていますか?**
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。
参照☞P.20「2. テープカートリッジをセットする」

● **印刷ヘッドが汚れていませんか?**
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド·クリーニングテープ(SR18C)またはヘッド·クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照☞P.76「お手入れについて」

● **電池が消耗していませんか?**
電池が消耗すると「電池を交換!」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形)と交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

● **異なったテープ幅を選択していませんか?**
異なったテープ幅を選択していると正しい文字サイズで印刷することができません。本機にセットされているテープ幅を選択してください。
参照☞P.22「3. 電源を入れる」

文章の途中までしか印刷されない

● **テープカートリッジにテープの残りがありますか?**
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照☞P.20「2. テープカートリッジをセットする」

● **電池が消耗していませんか?**
電池が消耗すると「電池を交換!」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形)と交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ファイルの内容が消えてしまった

● **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、登録したファイルなどのデータがすべて失われます。
参照☞P.65「本機を初期化する」

● **電池がセットされていますか？**
登録したファイルや入力した文章の内容を保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上、本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
また、「電池を交換！」と表示されたら、電池が消耗しています。すぐに新しい電池と交換してください。

● **電源が入った状態で電池を交換していませんか？**
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルなどのデータがすべて失われることがあります。

● **動作中に電池を取りはずしませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」と表示されているときに電池を取りはずすと登録したファイルなどのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。

● **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

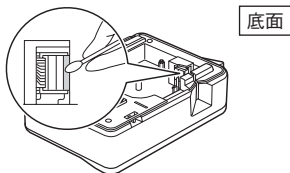
上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

お手入れについて

■ **本機外側の汚れ・ホコリは**

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれふきんで拭き取ってください。ベンジン･シンナー･アルコールなどの溶剤･薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ **印刷が欠けたりカスレたりする場合**

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR18C）またはヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

■ **ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う**

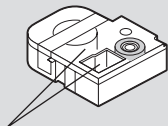
ヘッド・クリーニングテープを本機にセットし、「テープ送り」をします。

参照☞P.54「テープ送りをする」

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1〜2回おこなってください。

テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。

注 意!

- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。
- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。
- 白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られたことになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。

MEMO

- 本機にはヘッド・クリーニングテープSR18Cをお使いください。
- テープがたるんでいる場合、「巻き取りコア」を回してたるみを取ってください。
- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。

入力文字一覧表

●ダイアル配列

●入力文字表

ダイアル		ひらがな		カタカナ		ABC（大文字）		abc（小文字）	
上段	下段	ダイアルのみ	シフト＋ダイアル	ダイアルのみ	シフト＋ダイアル	ダイアルのみ	シフト＋ダイアル	ダイアルのみ	シフト＋ダイアル
あ	A	あ	ぁ	ア	ァ	A	a	a	A
い	B	い	ぃ	イ	ィ	B	b	b	B
う	C	う	ぅ	ウ	ゥ	C	c	c	C
え	D	え	ぇ	エ	ェ	D	d	d	D
お	E	お	ぉ	オ	ォ	E	e	e	E
か	F	か	ゕ	カ	ヵ	F	f	f	F
き	G	き	き	キ	キ	G	g	g	G
く	H	く	く	ク	ク	H	h	h	H
け	I	け	ゖ	ケ	ヶ	I	i	i	I
こ	J	こ	こ	コ	コ	J	j	j	J
さ	K	さ	さ	サ	サ	K	k	k	K
し	L	し	し	シ	シ	L	l	l	L
す	M	す	す	ス	ス	M	m	m	M
せ	N	せ	せ	セ	セ	N	n	n	N
そ	O	そ	そ	ソ	ソ	O	o	o	O

ダイアル		ひらがな		カタカナ		ABC（大文字）		abc（小文字）	
た	P	た	た	タ	タ	P	p	p	P
ち	Q	ち	ち	チ	チ	Q	q	q	Q
つ	R	つ	っ	ツ	ッ	R	r	r	R
て	S	て	て	テ	テ	S	s	s	S
と	T	と	と	ト	ト	T	t	t	T
な	U	な	な	ナ	ナ	U	u	u	U
に	V	に	に	ニ	ニ	V	v	v	V
ぬ	W	ぬ	ぬ	ヌ	ヌ	W	w	w	W
ね	X	ね	ね	ネ	ネ	X	x	x	X
の	Y	の	の	ノ	ノ	Y	y	y	Y
は	Z	は	は	ハ	ハ	Z	z	z	Z
ひ	1	ひ	ひ	ヒ	ヒ	1			
ふ	2	ふ	ふ	フ	フ	2			
へ	3	へ	へ	ヘ	ヘ	3			
ほ	4	ほ	ほ	ホ	ホ	4			
ま	5	ま	ま	マ	マ	5			
み	6	み	み	ミ	ミ	6			
む	7	む	む	ム	ム	7			
め	8	め	め	メ	メ	8			
も	9	も	も	モ	モ	9			
や	0	や	ゃ	ヤ	ャ	0			
ゆ	@	ゆ	ゅ	ユ	ュ	@			
よ	¥	よ	ょ	ヨ	ョ	¥			
ら	%	ら	ら	ラ	ラ	%			
り	&	り	り	リ	リ	&			
る	?	る	る	ル	ル	?			
れ	!	れ	れ	レ	レ	!			
ろ	’	ろ	ろ	ロ	ロ	’（アポストロフィ）			
わ	/	わ	わ	ワ	ワ	/			
を	-	を	を	ヲ	ヲ	-（ハイフン）			
ん	_	ん	ん	ン	ン	_（アンダーバー）			
ー	～	ー（長音）				～			
゛	：	゛（濁点）				：			
゜	・	゜（半濁点）				・			
、	，	、（読点）				，（カンマ）			
。	．	。（句点）				．（ピリオド）			
「	（	「				（			
」	）	」				）			
␣		␣（半角スペース）							
絵		絵文字メニュー							
記		記号メニュー							

漢字変換表

JIS第1水準　「読み」は一例です。これ以外の「読み」で変換することもできます。

あ	（あ）亜唖娃阿（あい）哀愛挨（あう）逢（あおい）葵（あかね）茜（あき）穐（あく）悪握渥（あさひ）旭（あし）葦芦（あじ）鯵（あずさ）梓（あつ）圧斡（あつかう）扱（あて）宛（あね）姐（あぶ）虻（あめ）飴（あや）絢綾（あゆ）鮎（ある）或（あわ）粟（あわせ）袷（あん）安庵按暗案闇鞍（あんず）杏
い	（い）以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥䜱（いき）域（いく）育郁（いそ）磯（いち）一壱（いつ）溢逸（いね）稲（いのち）命（いばら）茨（いも）芋（いわお）巌（いわし）鰯（いん）允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隠韻（いんち）吋
う	（う）右宇烏羽迂雨卯鵜（うかがう）窺（うし）丑（うす）碓臼（うず）渦（うそ）嘘（うた）唄（うつ）欝蔚（うなぎ）鰻（うば）姥（うまや）厩（うら）浦（うり）瓜（うるう）閏（うわさ）噂（うん）云運雲
え	（え）荏餌（えい）叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴英衛詠鋭（えき）液疫益駅（えつ）悦謁越閲（えのき）榎（えん）厭円園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁艶苑薗遠鉛鴛塩
お	（お）汚（おい）甥（おいて）於（おう）凹央奥往応押旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄始（おか）岡（おき）沖（おぎ）荻（おく）億屋憶臆（おけ）桶（おす）牡（おつ）乙（おれ）俺（おろし）卸（おん）恩温穏音
か	（か）下化仮何伽価佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過霞蚊（が）俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕（かい）介会解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝（がい）凱劾外咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸（かいり）浬（かえる）蛙（かおり）馨（かき）垣柿蛎（かぎ）鈎（かく）劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚角赫較郭閣隔革（がく）学岳楽額顎（かけ）掛（かさ）笠（かし）樫（かじ）梶（かじか）鰍（かしわ）柏（かた）潟（かつ）割喝括活渇滑葛褐轄且筈（かつお）鰹（かのう）叶（かば）椛樺（かばん）鞄（かぶ）株（かぶと）兜（かま）釜鎌（がま）蒲（かまど）竃（かむ）噛（かも）鴨（かや）茅萱（かゆ）粥（かる）刈苅（かわら）瓦（かん）乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観諌貫還鑑間閑関陥韓館舘（がん）丸含岸玩癌眼岩翫贋雁頑顔願
き	（き）企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌輝飢騎鬼亀祁（ぎ）偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇義蟻誼議（きく）掬菊鞠（きち）吉（きつ）吃喫桔橘詰（きぬた）砧（きね）杵（きび）黍（きゃく）却客脚（ぎゃく）虐逆（きゅう）丘久仇休及吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧玖（ぎゅう）牛（きょ）去居巨拒拠挙渠虚許距鋸（ぎょ）漁禦魚（きょう）亨享京供侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響饗驚橿（ぎょう）仰凝尭暁業（きょく）局曲極（ぎょく）玉（きり）桐（きろめーとる）粁（きん）僅勤均巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近金（ぎん）吟銀

く	(く)九倶句区狗矩苦躯駆駈駒（ぐ)具愚虞（くう)喰空（ぐう)偶寓遇隅（くし)串櫛（くず)屑（くつ)屈掘窟沓靴（くつわ)轡（くぼ)窪（くま)熊隈（くめ)粂（くり)栗（くる)繰（くわ)桑鍬（くん)勲君薫訓（ぐん)群軍郡
け	(け)卦袈（けい)係傾刑兄啓圭珪型契形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏(げい)芸迎鯨(げき)劇戟撃激隙(けた)桁(けつ)傑欠決潔穴結血訣(げつ)月（けん)件倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険顕験鹸（げん)元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺限
こ	(こ)乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓（ご)五互伍午呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐（こい)鯉（こう)交佼侯候倖光公功効勾厚口向后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降項香高鴻恰乞（ごう)剛劫号合壕拷濠豪轟（こうじ)麹（こく)克刻告国穀酷鵠黒（ごく)獄（こし)腰（こしき)甑（こす)漉（こつ)忽惚骨（こま)狛（こみ)込（これ)此（ころ)頃（こん)今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮魂
さ	(さ)些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟皐乍（ざ)坐座挫（さい)債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済災采犀砕砦祭斎細菜裁載際(ざい)剤在材罪財(さえ)冴(さか)坂阪(さかい)堺（さかき)榊（さかな)肴（さき)咲崎埼碕（さぎ)鷺（さく)作削咋搾昨朔柵窄策索錯(さくら)桜(さけ)鮭(ささ)笹(さじ)匙(さつ)冊刷察拶撮擦札殺薩(ざつ)雑（さば)鯖（さばく)捌（さび)錆（さめ)鮫（さら)皿（さらす)晒（さん)三傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸餐（ざん)斬暫残
し	(し)仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌諮資賜雌飼歯（じ)事似侍児字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞迩（しお)汐（しか)鹿（しき)式識（しぎ)鴫（じく)竺軸（しし)宍（しずく)雫（しち)七（しつ)叱執失嫉室悉湿漆疾質（じつ)実（しとみ)蔀（しの)篠（しのぶ)偲（しば)柴芝(しばしば)屡(しべ)蕊(しま)縞(しゃ)舎写射捨赦斜煮社紗者謝車遮(じゃ)蛇邪（しゃく)借勺尺杓灼爵酌釈錫（じゃく)若寂弱惹（しゅ)主取守手朱殊狩珠種腫趣酒首（じゅ)儒受呪寿授樹綬需嬬（しゅう)囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴輯週酋酬集醜（じゅう)什住充十従戎柔汁渋獣縦重銃（しゅく)叔夙宿淑祝縮粛（じゅく)塾熟（しゅつ)出（じゅつ)術述（しゅん)俊峻春瞬竣舜駿（じゅん)准循旬楯殉淳準潤盾純巡遵醇順惇（しょ)処初所暑曙渚庶緒署書薯藷諸（じょ)助叙女序徐恕鋤除（しょう)傷償勝匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘(じょう)上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾条杖浄状畳穣蒸譲醸錠(しょく)嘱埴飾拭植殖燭織職色触食蝕（じょく)辱（しり)尻（しん)伸信侵唇娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣芯薪親診身辛進針震（じん)人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣靭

す	(す)笥諏須酢 (ず)図逗 (すい)吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘 (ずい)随瑞髄 (すう)崇嵩数枢趨雛 (すえ)据 (すぎ)杉椙 (すげ)菅 (すこぶる)頗 (すずめ)雀 (すそ)裾 (すみ)澄 (する)摺 (すん)寸
せ	(せ)世瀬畝 (ぜ)是 (せい)凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青静斉瀞 (ぜい)税脆 (せき)隻席惜戚斥昔析石積籍績脊責赤跡蹟碩 (せつ)切拙接摂折設窃節説雪 (ぜつ)絶舌 (せみ)蝉 (せん)仙先千占宣専尖川戦扇撰栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線繊羨腺舛船薦詮賎践選遷銭銑閃鮮釧 (ぜん)前善漸然全禅繕膳 (せんち)糎
そ	(そ)塑岨措曾曽楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠 (そう)僧創双叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒噌 (ぞう)像増憎臓蔵贈造 (そく)促側則即息捉束測足速 (ぞく)俗属賊族続 (そつ)卒 (そで)袖 (それ)其 (そろう)揃 (そん)存孫尊損村遜
た	(た)他多太汰 (だ)唾堕妥惰打柁舵楕陀駄 (たい)体堆対耐岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛 (だい)代台大第醍題廼 (たか)鷹 (たき)滝瀧 (たく)卓啄宅托択拓沢濯琢託鐸 (だく)濁諾 (たけ)茸 (たこ)凧蛸 (ただ)只 (たたく)叩 (ただし)但 (たつ)達辰 (だつ)奪脱 (たつみ)巽 (たて)竪 (たどる)辿 (たな)棚 (たに)谷 (たぬき)狸 (たら)鱈 (たる)樽 (だれ)誰 (たん)丹単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆蛋誕鍛騨 (だん)団壇弾断暖檀段男談
ち	(ち)値知地弛恥智池痴稚置致蜘遅馳 (ちく)築畜竹筑蓄逐 (ちつ)秩窒 (ちゃ)茶 (ちゃく)嫡着 (ちゅう)中仲宙忠抽昼柱注虫衷註酎鋳駐厨 (ちょ)樗瀦猪苧著貯 (ちょう)丁兆凋喋寵帖帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶調諜超跳銚長頂鳥 (ちょく)勅捗直 (ちん)朕沈珍賃鎮陳
つ	(つ)津 (つい)墜椎槌追鎚 (つう)痛通 (つか)塚 (つが)栂 (つかむ)掴 (つき)槻 (つくだ)佃 (つけ)漬 (つげ)柘 (つじ)辻 (つた)蔦 (つづる)綴 (つば)鍔 (つばき)椿 (つぶれる)潰 (つぼ)坪壷 (つむぎ)紬 (つめ)爪 (つり)釣 (つる)鶴 (つるす)吊
て	(てい)亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓邸鄭釘鼎 (でい)泥 (てき)摘擢敵滴的笛適鏑 (でき)溺 (てつ)哲徹撤轍迭鉄 (てん)典填天展店添纏甜貼転顛点 (でん)伝殿澱田電
と	(と)兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登菟賭途都鍍砥砺 (ど)努度土奴怒 (とう)倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃梼棟盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘 (どう)働動同堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅 (とうげ)峠 (とき)鴇 (とく)匿得徳涜特督禿篤 (どく)毒独読 (とける)熔 (とち)栃橡 (とつ)凸突 (とど)椴 (とどく)届 (とび)鳶 (とま)苫 (とら)寅 (とり)酉 (とん)噸屯敦沌豚遁頓 (どん)呑曇鈍
な	(な)奈那 (ない)内 (なぎ)凪薙 (なぞ)謎 (なだ)灘 (なつ)捺 (なべ)鍋 (なら)楢 (なれる)馴 (なわ)縄 (なわて)畷 (なん)南楠軟難 (なんじ)汝
に	(に)二尼弐 (におい)匂 (にぎわう)賑 (にく)肉 (にじ)虹 (にじゅう)廿 (にち)日 (にゅう)乳入 (にょ)如 (にょう)尿 (にら)韮 (にん)任妊忍認

ぬ	(ぬれる)濡
ね	(ね)禰祢 (ねい)寧 (ねぎ)葱 (ねこ)猫 (ねつ)熱 (ねん)年念捻撚燃粘
の	(の)乃之埜 (のう)嚢悩濃納能脳膿農 (のぞく)覗 (のみ)蚤
は	(は)巴把播覇杷波派琶破簸 (ば)婆罵芭馬 (はい)俳廃拝排敗杯盃牌背肺輩配 (ばい)倍培媒梅楳煤狽買売賠陪 (はう)這 (はえ)蝿 (はかり)秤 (はぎ)萩 (はく)伯剥博拍柏泊白箔粕舶薄迫 (はぐ)矧 (ばく)曝漠爆縛莫駁麦 (はこ)函箱 (はざま)硲 (はし)箸 (はじめ)肇 (はた)幡 (はだ)肌 (はたけ)畑畠 (はち)八鉢 (はつ)溌発醗髪 (ばつ)伐罰抜筏閥 (はと)鳩 (はなし)噺 (はなわ)塙 (はまぐり)蛤 (はやぶさ)隼 (はん)伴判半反叛帆搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩頒飯 (ばん)挽晩番盤磐蕃蛮
ひ	(ひ)匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費避非飛樋 (び)備尾微枇毘琵眉美鼻 (ひいらぎ)柊 (ひえ)稗 (ひき)匹疋 (ひげ)髭 (ひこ)彦 (ひざ)膝 (ひし)菱 (ひじ)肘 (ひつ)弼必畢筆逼 (ひのき)桧 (ひめ)姫媛 (ひも)紐 (ひゃく)百 (びゅう)謬 (ひょう)俵彪標氷漂瓢票表評豹 (びょう)廟描病秒苗錨鋲 (ひる)蒜蛭 (ひれ)鰭 (ひん)品彬斌浜瀕貧賓頻 (びん)敏瓶
ふ	(ふ)不付埠夫婦富冨布府怖扶敷斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附 (ぶ)侮撫武舞葡蕪部 (ふう)封楓風覆 (ふき)蕗 (ふく)伏副復幅服福腹複葺 (ふち)淵 (ふつ)弗払沸仏 (ぶつ)物 (ふな)鮒 (ふん)分吻噴墳憤扮焚奮粉糞紛雰 (ぶん)文聞
へ	(へい)丙併兵塀幣平弊柄並蔽閉陛 (べい)米 (ぺいじ)頁 (へき)僻壁癖碧 (べつ)別瞥蔑 (へら)箆 (へん)偏変片篇編辺返遍 (べん)便勉娩弁鞭
ほ	(ほ)保舗鋪圃捕歩甫補輔穂 (ぼ)募墓慕戊暮母簿菩 (ほう)倣俸包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽鳳鵬 (ぼう)乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌貿鉾防(ほえる)吠(ほお)頬(ほく)北(ぼく)僕卜墨撲朴牧睦穆(ぼたん)釦 (ぼつ)勃没 (ほとんど)殆 (ほり)堀 (ほろ)幌 (ほん)奔本翻 (ぼん)凡盆
ま	(ま)摩磨魔麻 (まい)埋妹昧枚毎 (まいる)哩 (まき)槙 (まく)幕膜 (まくら)枕 (まぐろ)鮪 (まさ)柾 (ます)鱒桝 (また)亦俣又 (まつ)抹末沫 (まで)迄 (まま)侭 (まゆ)繭 (まろ)麿 (まん)万慢満漫蔓
み	(み)味未魅巳箕 (みさき)岬 (みつ)密蜜 (みなと)湊 (みの)蓑 (みのる)稔 (みゃく)脈 (みょう)妙 (みりめーとる)粍 (みん)民眠
む	(む)務夢無牟矛霧鵡 (むこ)婿 (むすめ)娘
め	(めい)冥名命明盟迷銘鳴姪 (めす)牝 (めつ)滅 (めん)免棉綿緬面麺
も	(も)摸模茂 (もう)妄孟毛猛盲網耗蒙 (もうけ)儲 (もく)木黙目杢 (もち)勿餅 (もっとも)尤 (もどる)戻 (もみ)籾 (もらう)貰 (もん)問悶紋門 (もんめ)匁
や	(や)也冶夜爺耶野弥矢 (やく)厄役約薬訳躍 (やす)靖 (やなぎ)柳 (やぶ)薮 (やり)鑓

ゆ	(ゆ)愉愈油癒諭輸 (ゆい)唯 (ゆう)佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕
よ	(よ)予余与誉輿預(よう)傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養(よく)慾抑欲沃浴翌翼 (よど)淀
ら	(ら)羅螺裸 (らい)来莱頼雷 (らく)洛絡落酪 (らん)乱卵嵐欄濫藍蘭覧
り	(り)利吏履李梨理璃痢裏裡里離 (りく)陸 (りつ)律率立葎 (りゃく)掠略 (りゅう)劉流溜琉留硫粒隆竜龍 (りょ)侶慮旅虜 (りょう)了亮僚両凌寮料梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領椋苓 (りょく)力緑 (りん)倫厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟
る	(る)瑠 (るい)塁涙累類
れ	(れい)令伶例冷励嶺怜玲礼鈴隷零霊麗齢 (れき)暦歴 (れつ)列劣烈裂 (れん)廉恋憐漣煉簾練聯蓮連錬
ろ	(ろ)呂魯櫓炉賂路露蘆 (ろう)労婁廊弄朗楼榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎 (ろく)六麓禄肋録 (ろん)論
わ	(わ)倭和話 (わい)歪賄 (わき)脇 (わく)惑枠涌 (わし)鷲 (わたり)亘 (わたる)亙 (わに)鰐 (わび)詫 (わら)藁 (わらび)蕨 (わん)椀湾碗腕

JIS第2水準　**「読み」は一例です。これ以外の「読み」で変換することもできます。**

(どん)丼 (かい)乖 (じょう)乘 (よ)豫 (に)弍 (あ)亞 (こう)亢 (そく)仄 (いつ)佚 (ぶつ)佛 (ちょ)佇 (し)佗 (しゅ)侏 (た)侘 (ちょう)佻 (ゆう)侑 (らい)來 (じん)儘 (そ)俎 (ふ)俘 (きょ)倨 (さい)倅 (せがれ)伜 (ふ)俯 (かい)會 (かい)偕 (けつ)偈 (ぬすむ)偸 (かい)傀 (ごう)傲 (でん)傳 (ぎ)僞 (ぎょう)僥 (せん)僭 (か)價 (けん)儉 (ぼう)儚 (らい)儡 (じ)兒 (だ)兌 (きょう)兢 (えん)冤 (ちゅう)冲 (れつ)冽 (りん)凛 (き)几 (しょ)處 (こがらし)凩 (おう)凰 (はこ)凾 (じん)刄 (ふん)刎 (かつ)刮 (こ)刳 (さつ)刹 (こく)剋 (らつ)剌 (せん)剪 (じょう)剩 (ひょう)剽 (けん)劍 (べん)辨 (けい)勁 (くん)勳 (きょう)匈 (ほ)匍 (ふく)匐 (き)匱 (そつ)卆 (まんじ)卍 (かん)卷 (ぼう)厖 (し)厠 (しょう)厰 (そう)雙 (そう)叟 (まん)曼 (うん)吽 (こう)吼 (とつ)吶 (りん)吝 (か)呵 (きゅう)咎 (げん)呟 (しん)呻 (そ)咀 (とつ)咄 (ほう)咆 (かん)咸 (こう)咬 (こう)哄 (しかる)咤 (ろう)咾 (こう)哮 (こく)哭 (ほ)哺 (せつ)啜 (たん)啖 (てん)唸 (かく)喀 (しゅう)啾 (ぜん)喘 (たん)單 (てい)啼 (なん)喃 (ゆ)喩 (ああ)嗚 (きゅう)嗅 (さ)嗟 (さ)嗄 (し)嗜 (し)嗤 (おう)嘔 (し)嘴 (せい)嘶 (ちょう)嘲 (きん)噤 (しょう)嘯 (そう)噪 (しゃく)嚼 (しょう)囁 (そう)囃 (てん)囀 (おとり)囮 (こく)圀 (けん)圈 (こく)國 (えん)圓 (だん)團 (ず)圖 (しょく)嗇 (あくつ)圷 (し)址 (たお)垰 (あい)埃 (らち)埒 (いん)堙 (あま)塰 (き)毀 (ざん)塹 (きょ)墟 (かい)壞 (だ)墮 (るい)壘 (どん)壜 (そう)壯 (つぼ)壺 (いち)壹 (せい)壻 (こん)壼 (じゅ)壽 (か)夥 (よう)夭 (きょう)夾 (えき)奕 (けい)奎 (しゃ)奢 (てん)奠 (しょう)奬 (はこ)奩 (かん)奸 (ねい)佞 (きょう)姜 (さ)娑 (だ)娜 (あ)婀 (えん)婉 (しゅ)娶 (ひ)婢 (び)媚 (おう)媼 (ほう)嫋 (そう)嫂 (えん)嫣 (う)嫗 (きょう)嬌

（じょう）嫐（ひん）嬪（かかあ）嬶（じょう）孃（よう）孕（じゅく）孰（ふ）孵（がく）學（かん）宦（しん）宸（こう）寇（じつ）實（しん）寢（ばく）寞（りょう）寥（ほう）寳（しょう）將（せん）專（たい）對（ぼう）尨（へ）屁（し）屎（き）屓（へい）屛（きつ）屹（しん）岑（じ）峙（きょう）峽（とう）嶌（こう）崗（こん）崑（りょう）崚（かん）嵌（けわしい）嶮（がく）嶽（がん）巖（みこ）巫（い）已（はく）帛（たい）帶（い）帷（てい）幀（し）幟（ほう）幇（ひさし）廂（こう）廣（ちょう）廳（てき）廸（ど）弩（だん）彈（び）彌（わん）彎（すい）彗（い）彙（ほう）彷（そ）徂（ふつ）彿（かい）徊（じゅう）從（はい）徘（こう）徨（そん）忖（じく）忸（てん）忝（ふん）忿（こ）怙（そう）怱（こう）恆（こう）恍（し）恣（じ）恃（よう）恙（かん）悍（く）悁（しょう）悄（しゅん）悛（り）悧（りん）悋（あく）惡（き）悸（けい）惠（すい）悴（がく）愕（こう）惶（せい）惺（いん）慇（き）愾（き）愧（しん）愼（そう）愴（りつ）慄（けん）慳（こう）慷（ざん）慙（どう）慟（けい）憬（しょう）憔（たん）憚（はい）憊（ひょう）憑（みん）憫（ぶ）憮（おう）懊（こたえる）應（かい）懷（きん）懃（り）罹（まん）懣（ざん）懺（れん）戀（いぬ）戌（せつ）截（りく）戮（せん）戰（ぎ）戲（へん）扁（さて）扨（やく）扼（けつ）抉（じょ）抒（ばつ）拔（よう）拗（だ）拿（はい）拜（はん）拌（ふつ）拂（ぼ）拇（ほう）抛（ら）拉（かく）挌（きつ）拮（きょう）拱（そん）拵（えん）捐（きょう）挾（そう）搜（ねつ）捏（とう）掉（てい）掟（れい）捩（き）揆（じゅう）揉（や）揶（ゆ）揄（よう）搖（じゃく）搦（せつ）攝（はく）搏（し）摯（かく）攪（ばち）撥（かん）撼（せん）擅（たつ）撻（てき）擲（はん）攀（れん）攣（かく）攫（しゅう）收（じょ）敍（こう）敲（すう）數（しん）斟（ぼう）旁（はん）旛（こう）杲（よう）杳（じつ）昵（すばる）昴（あん）晏（ちょう）晁（ちゅう）晝（しん）晨（せい）晟（せき）晰（うん）暈（えい）暎（き）暉（ぎょう）曉（あい）曖（えつ）曰（えい）曳（かつ）曷（もう）朦（ろう）朧（だ）朶（き）朷（き）杞（おう）枉（しょう）杳（ます）枡（か）枷（きゅう）柩（ひのき）檜（しおり）栞（きょう）框（そ）梳（かん）桿（きょう）梟（こく）梏（し）梔（じょう）條（てい）梃（ぼん）梵（りょ）梠（きょく）棘（こん）棍（しゅ）棕（しょう）椒（そう）棗（とう）棹（とう）棠（かい）楷（しゅう）楫（せつ）楔（やし）椰（ゆ）楡（えい）榮（えんじゅ）槐（き）榿（はん）槃（ふ）榑（りゅう）榴（がく）樂（きん）槿（しょう）樅（たん）樗（よう）樣（ろう）樓（せい）橇（とう）橙（げき）檄（けん）檢（はく）檗（はく）蘗（かん）檻（き）櫃（かい）櫂（ねい）檸（もう）檬（れき）櫟（りょ）櫚（おう）櫻（けやき）欅（うつ）鬱（とう）盜（ぼつ）歿（せん）殲（いん）殷（むしる）毟（まり）毬（ごう）毫（たん）毯（き）麾（せん）氈（き）氣（はい）沛（ぼく）沐（せつ）泄（おう）泓（こ）沽（し）泗（るい）泪（い）洟（えん）衍（こう）洸（しゅん）洵（しゃ）洒（かん）浣（しゅん）浚（せん）涎（てい）涕（とう）濤（でつ）涅（えん）淵（こ）涸（こう）淆（しょう）淞（じょう）淨（せん）淺（いん）湮（こん）渾（しゅう）湫（せつ）渫（まん）滿（ゆう）游（こう）滉（そ）溯（そう）滄（とう）滔（がい）漑（かん）灌（こ）滸（しょう）漿（しん）滲（そう）漱（たい）滯（ちょう）漲（てき）滌（じゅう）澁（さわ）澤（たん）澹（れい）澪（しつ）濕（ひん）濱（もう）濛（ばく）瀑（ろ）濾（ちょ）瀦（れき）瀝（しょう）瀟（らん）瀾（しゃ）炙（しょう）炒（けい）炯（きょ）炬（さく）炸（えん）烟（らく）烙（えん）焉（ほう）烽（ほう）焙（かん）煥（き）煕（こう）煌（よう）煬（くん）熏（のし）熨（かん）燗（し）熾（しょう）燒（りょう）燎（すい）燧（たつ）燵（じん）燼（よう）燿（らん）爛（そう）爭（は）爬（い）爲（れい）犂（ちゅう）犲（かく）狢（こう）狡（きょう）狹（さい）猜（こう）猴（しょう）猩（わい）猥

（かつ）猾（ばく）獏（もく）默（かい）獪（どく）獨（どう）獰（じゅう）獸（だつ）獺（か）珈（ちん）珎（はく）珀（ろう）瑯（こ）琥（はい）琲（か）瑕（のう）瑙（さ）瑣（め）瑪（よう）瑤（へき）璧（こ）瓠（けん）甄（ぼう）甍（よう）甕（そ）甦（き）畸（とう）當（ちゅう）疇（じょう）疊（ゆう）疣（し）疵（しょ）疽（たん）疸（とう）疼（ほう）疱（よう）痒（けい）痙（し）痣（たん）痰（ひ）痺（よう）瘍（そう）瘡（はん）瘢（りゅう）瘤（かん）癇（らい）癩（しゃく）癪（てん）癲（き）癸（こう）皓（ほう）皰（しゅう）皺（う）盂（じん）盡（かん）盥（たん）眈（げん）眩（しん）眞（けん）眷（ぼう）眸（げい）睨（しょう）睫（せい）睛（こう）睾（めい）瞑（どう）瞠（まん）瞞（かん）瞰（けん）瞼（かく）矍（きん）矜（わい）矮（せい）砌（ひ）砒（さい）碎（ろく）碌（さ）磋（たく）磔（らい）磊（せき）磧（ぎ）礒（ばん）礬（れき）礫（し）祀（し）祠（すい）祟（ひ）祕（ふつ）祓（ろく）祿（けい）禊（さい）齋（ぜん）禪（れい）禮（ちょく）稙（ちゅう）稠（ひん）稟（とう）稻（すい）穗（わい）穢（ゆたか）穰（せい）穽（そう）竈（きょう）竅（ざん）竄（こつ）笏（せん）笘（しょう）笙（ち）笞（きょう）筐（しゅん）筍（せん）筌（せん）筅（えん）筵（けん）筧（せい）筮（かん）箝（こ）箍（せん）箋（そう）箒（そう）箏（こう）篁（てん）篆（こう）篝（し）篩（さ）簑（へい）篦（ろう）籠（さく）簀（やな）簗（さん）簪（らん）籃（とう）籐（せん）籤（こう）粳（りょう）粮（すい）粹（そう）粽（こうじ）糀（び）糜（きゅう）糺（う）紆（はん）絆（し）絲（じゅう）絨（ほう）絣（けい）經（しゅう）綉（りょ）絽（き）綺（けん）綣（そう）總（りん）綸（かん）緘（たん）緞（ち）緻（い）縊（けん）縣（し）縒（じゅう）縱（つい）縋（ろう）縷（れん）縺（りょう）繚（えき）繹（けつ）纈（てん）纏（こう）纐（せん）纖（らん）纜（かん）罐（わな）罠（ひぐま）羆（き）羈（き）羇（しゅう）羞（れい）羚（かん）羮（かん）羹（しょう）翔（ひ）翡（えい）翳（ほん）飜（き）耆（ぼう）耄（りょう）聊（へい）聘（しゅう）聚（せい）聟（せい）聲（そう）聰（ちょう）聽（いつ）聿（し）肆（こう）肛（と）肚（こう）胛（ちゅう）胄（はい）胚（こう）胱（けい）脛（しゅう）脩（えき）腋（ずい）隋（ひ）脾（ふ）腑（けん）腱（ぼう）膀（こう）膠（ちつ）膣（すい）膵（かい）膾（でん）臀（ひ）臂（せい）臍（じゅ）臑（ろう）臘（だい）臺（ゆ）臾（きゅう）舅（よ）與（しゃ）舍（なめる）舐（せん）舩（ほう）舫（じく）舳（そう）艘（ろ）艫（かん）艱（ぼう）芒（すう）芻（ばい）苺（はん）范（ほう）苞（まつ）茉（うい）茴（じゅん）荀（じょ）茹（ぼう）茫（めい）茗（がん）莟（そう）莊（と）荼（り）莉（きん）菫（がく）萼（まん）萬（ほう）蒡（さい）蔡（しょ）蔗（りょう）蓼（じん）蕁（ずい）蘂（ずい）蕋（きょう）薑（こう）薨（しょう）蕭（しょう）薔（そう）藪（び）薇（らい）蕾（せき）藉（ぞう）藏（げい）藝（やく）藥（うん）蘊（りん）藺（ろ）蘆（けん）虔（ごう）號（しつ）虱（いん）蚓（きゅう）蚯（こ）蛄（しょ）蛆（れい）蛉（れい）蠣（しゅ）蛛（えび）蛯（けん）蜆（しょく）蜀（しん）蜃（ふ）蜉（よう）蛹（えき）蜴（けん）蜷（せい）蜻（せき）蜥（ちょう）蜩（ふく）蝠（か）蝸（さそり）蝎（いなご）蝗（ふく）蝮（へん）蝙（ゆう）蝣（はえ）蠅（けい）螢（ろう）螂（しつ）蟋（しゅつ）蟀（ちつ）蟄（ま）蟇（ろう）螻（ぎょう）蟯（ちゅう）蟲（さそり）蠍（とう）蟷（しゅん）蠢（げん）衒（えい）衞（きん）衾（べい）袂（はん）袢（ふく）袱（かみしも）裃（ゆき）裄（えい）裔（そう）裝（つま）褄（こん）褌（じょく）褥（たい）褪（せつ）褻（へき）襞（じゅ）襦（たすき）襷（し）觜（ふ）訃（か）訛（いぶかる）訝（とつ）訥（こ）詁（そ）詛（り）詈（き）詭（しゅん）詢（ちゅう）誅（ちょう）誂（しょう）誦（ふ）誣（じゅん）諄（てん）諂（かん）諫（あん）諳（かい）諧（がく）諤（きゃく）謔（ふう）諷（ゆ）諛（ぼう）謗（よう）謠

(おう)謳（たく)謫（ぼ)謨（き)譏（しょう)證（たん)譚（ひ)譬（よ)譽（どく)讀（しゅう)讎（さん)讒（じょう)讓（き)豈（えん)豌（かく)貉（ばく)貘（どん)貪（に)貳（へん)貶（せん)賤（ばい)賣（さい)賽（し)贄（ぜい)贅（ぞう)贓（ひ)贔（しょく)贖（きゅう)赳（ちょう)趙（き)跂（ふ)趺（ひ)跛（ばつ)跋（き)跪（じゅう)蹂（しょう)踵（さ)蹉（しゅく)蹙（しょう)蹤（そん)蹲（そう)躁（ちょ)躇（ちゅう)躊（ち)躓（てき)躑（りん)躙（たい)躰（しつけ)躾（きし)軋（りょう)輛（りょう)輌（そう)輳（ふく)輻（てん)輾（ろく)轆（れき)轢（ろ)轤（へき)辟（らつ)辣（てき)迪（じ)邇（こう)逅（けい)逕（しゅん)逡（しょう)逍（てい)逞（かい)邂（きょ)遽（まい)邁（へん)邊（へん)邉（ら)邏（そん)邨（かん)邯（きゅう)邱（ひ)鄙（てい)酊（めい)酩（さく)醋（すい)醉（りん)醂（い)醫（じょう)釀（ゆう)釉（しゃく)釋（ばん)鈑（えつ)鉞（かん)鉗（く)鉤（なた)鉈（てつ)銕（でん)鈿（かんな)鉋（せん)銛（きょう)鋏（こ)錮（せん)錢（しん)鍼（ちゅう)鍮（ちん)鎭（かすがい)鎹（ざん)鏨（まん)鏝（てつ)鐵（ちゅう)鑄（しゃく)鑠（りょ)鑢（ろ)鈩（さん)鑽（さく)鑿（さん)閂（けい)閨（えん)閻（かつ)闊（ちん)闖（へき)闢（ろう)陋（かん)陷（あい)隘（いん)隕（けん)險（ろう)隴（ち)雉（ざつ)雜（かく)霍（ひょう)雹（みぞれ)霙（あられ)霰（へき)霹（もや)靄（れき)靂（せい)靜（ろく)勒（さい)靫（じん)靱（あい)鞋（きょう)鞏（しょう)頌（けい)頸（がん)頷（たい)頽（か)顆（けん)顯（ひん)顰（おろし)颪（さつ)颯（たい)颱（ひょう)飄（とん)飩（こう)餃（しょう)餉（あん)餡（せん)餞（へい)餠（うん)饂（きん)饉（まん)饅（じょう)饒（かく)馘（ふく)馥（ぎょ)馭（だ)駝（たい)駘（らく)駱（へん)騙（けん)騫（そう)騷（ばく)驀（ひょう)驃（ら)騾（きょう)驕（けん)驗（ろ)驢（き)驥（かく)骼（ひ)髀（ろう)髏（どく)髑（たい)體（ほう)髣（ぜん)髯（はつ)髮（ふつ)髴（きょく)髷（まん)鬘（しゅ)鬚（びん)鬢（こう)鬨（はく)魄（ばつ)魃（ぎ)魏（もう)魍（りょう)魎（ち)魑（ひらめ)鮃（ほう)鮑（あん)鮟（すし)鮨（たこ)鮹（そう)鰺（しゃち)鯱（なまず)鯰（さい)鰓（どじょう)鰌（さわら)鰆（ちょう)鰈（あわび)鰒（れん)鰊（いわし)鰮（し)鰤（はたはた)鰰（こう)鱇（きす)鱚（れい)鱧（しょう)鱶（すずき)鱸（あ)鴉（おう)鴦（だ)鴕（れい)鴒（が)鵞（げき)鵙（じゅん)鶉（ひ)鵯（ぬえ)鵺（けい)鷄（じゃく)鶸（せき)鶺（おう)鸚（らん)鸞（き)麒（じゃ)麝（ふ)麩（び)靡（れい)黎（ばい)黴（すっぽん)鼈（ゆう)鼬（かん)鼾（さい)齊（そ)齟（げつ)齧（ぎょう)堯（てん)槇（よう)遙

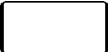
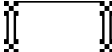
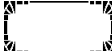
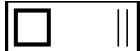
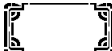
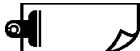
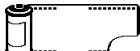
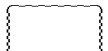
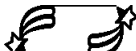
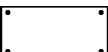
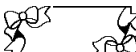
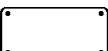
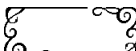
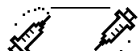
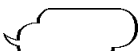
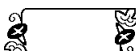
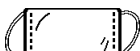
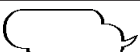
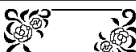
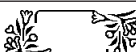
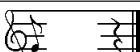
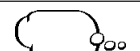
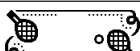
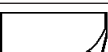
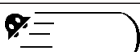
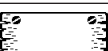
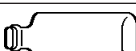
その他　　「読み」は一例です。これ以外の「読み」で変換することもできます。

(おう)鷗（かつ)葛（ぎ)祇（こうじ)麴（せい)鯖鯖（しゅう)繡（たん)驒（たく)琢啄（そん)樽（つか)塚（かく)摑（てん)塡（はつ)潑醱（さき)﨑（そう)桒（ひん)濵（こう)髙（きち)𠮷（きょう)槗（しょう)昇（りゅう)栁（さかき)榊（なぎ)彅（ちょく)捗（しょう)醬（めん)麵

絵文字・記号一覧表

●絵文字

分　類	記　号
動　物	
虫・魚	
花・草木	
乗り物	
食べ物	

雑　貨
趣　味
予　定
シーズン
暮らし
顔

MEMO

絵文字は文字サイズによってデザインが異なる場合があります。一覧表はＬ字サイズ［19pt］のものです。

数　字	＋ － × ÷ ＝ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ $_1$ $_2$ $_3$ ^{1} ^{2} ^{3} ^{4} ^{5} $_4$ $_5$ $_6$ $_7$ $_8$ $_9$ $_0$ ^{6} ^{7} ^{8} ^{9} ^{0} $^+$ $^-$ ½ ⅓ ⅔ ¼ ¾ ∞
2桁数字	00～99
ギリシャ	Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
欧　州	ä ë ï ö ü Ä Ë Ï Ö Ü á é í ó ú Á É Í Ó Ú à è ì ò ù À È Ì Ò Ù â ê î ô û Â Ê Î Ô Û ñ Ñ ß Ç ç Œ œ ¿ ¡
編　集	罫 ␣

外枠一覧表

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42

MEMO

外枠は、テープ幅によってデザインが異なる場合があります。
一覧表は、12・18mm 幅のテープを使用した場合の外枠です。

おもな仕様

■ 入力

入力装置	ロータリーダイアル選択方式
入力状態	ダイアル入力、ABC 入力、小文字入力、絵文字（記号）入力
漢字変換方式	学習機能付き最長一致熟語 / 単漢字変換方式 熟語変換辞書 約 63,000 語（熟語学習容量 約 20 語） 単漢字変換辞書 約 10,000 語（単漢字学習容量 約 30 語）

■ 表示

表示装置	ドットマトリクス STN 液晶パネル
文字表示	32dot × 96dot（6chr × 2line）
インジケーター	11 個

■ 記憶

文章メモリー	約 90 文字
内蔵ファイル	約 90 文字 / 最大 5 ファイル

■ フォント

内蔵文字数	全 5,100 文字 漢字 JIS 第 1 水準 2,965 文字 漢字 JIS 第 2 水準 1,121 文字 漢字 その他 29 文字 ひらがな・カタカナ 英数字・記号・その他
内蔵フォント	ビットマップフォント　3 種類 （ゴシック、明朝体、てがき） ※「てがき」時の漢字の書体は「ゴシック」です。

■ 印刷

印刷方式	熱転写 PRO 印刷方式
印刷濃度	-3 〜ふつう〜 +3（7 段階）
ヘッド構成	サーマルヘッド・64dot、180dpi（最大印刷幅 9.0mm）
テープ幅検出	ユーザー手動入力
テープカートリッジ	P テープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦 PRO 印刷式、4・6・9・12・18mm 幅
カッター	手動カッター

■ 印刷機能

文字構成	5 段階
	P 字　16 × 16dot　（ 6 ポイント相当）
	S 字　24 × 24dot　（10 ポイント相当）
	M 字　32 × 32dot　（13 ポイント相当）
	L 字　48 × 48dot　（19 ポイント相当）
	G 字　64 × 64dot　（26 ポイント相当）
	※ テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。
特殊印刷	連続印刷、鏡文字印刷

■ 電源、その他

電源	アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単 3 形× 6 本)
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約 5 分で電源を自動的にオフする
寸法	約 W168 × D109 × H65［mm］
重量	約 390g（電池、テープカートリッジを除く）
同梱品	取扱説明書
	保証書
	試用 PRO テープカートリッジ
別売品	PRO テープカートリッジ
	ヘッド・クリーニングキット（RC15）
	ヘッド・クリーニングテープ（SR18C）
	トリマー（RT36W）
	ハーフカッター（RH24）
	りぼんキット（SRR10）
	ラベルラミネーター（RL18）
	システムバッグ（SR8B）
	システムケース（SR9H）
	テープカートリッジケース（SR4TH）

■ 使用条件

温度環境	動作時	10℃ ～ 35℃
	保存時	-10℃ ～ 55℃
湿度環境	動作時	30% ～ 80%（非結露）
	保存時	5% ～ 80%（非結露）

索引

記号

英数字

あ

か

さ

た

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のテープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。
なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

FAXからの場合　0120-79-8102
携帯電話からの場合　0570-06-4759
※通話料お客様負担
受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前9時～午後5時30分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

「テプラ」PRO SR55 取扱説明書
2014 年 2 月　第 1 版

株式会社キングジム

〒 101-0031　東京都千代田区東神田 2 丁目 10 番 18 号

SR55
取扱説明書

・お問い合わせ

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス http://www.kingjim.co.jp/

©2014 Printed in China 03-①